

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

本社／大阪店：〒542-0082 大阪市中央区島之内1-13-13 東京銀座店：〒104-0061 東京都中央区銀座2-6-12

赤ちゃん医学から生まれた

Aprica

ベビー & チャイルドシート・ベッド

Fladea Deaturn

フラディア

ディアターン

SEMI-UNIVERSAL
0-18kg Y

E13

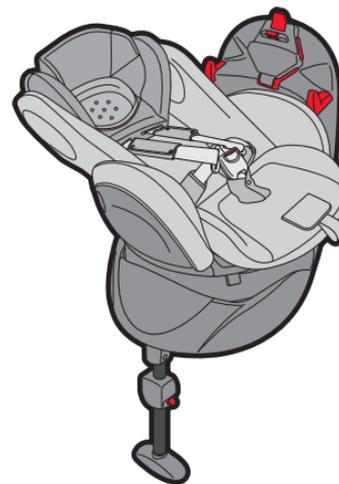
045087

ECE-R44/04

Aprica

ヨーロッパの安全基準合格

取扱説明書／保証書



体重**2.5kgから18kgまで**のお子さま用です。
本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて
認可された自動車3点式／リトラクター付きシートベルトを
装備した車に限り使用できます。

このたびは、アップリカ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
ご使用前に、本書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
また、お読みになった後は、**本書を大切に保管してください。**
取扱説明書に記載されている以外の方法で使用しないでください。

ECE-R44/04（ヨーロッパ統一規則）適合
準汎用型グループ0、グループI、2.5kgから18kgまで。

ご使用前に
〈P2〉

取り付ける前に
〈P20〉

車への取り付け
〈P35〉

お手入れ
〈P62〉

ご使用前に

チャイルドシートについて	2
保護者の方へのアドバイス	2
本書の表示について	2
取り付ける手順	3
各部のなまえ	5
お子さまの条件	9
座席の条件	11
シートベルトの条件	13
ご使用上の注意	15
日常の点検	19

取り付ける前に

レッグサポートの使いかた	20
シート部の回転のしかた	21
リクライニングの使いかた	22
肩ハーネスの高さ調節のしかた	23
パッド類の使いかた	31

車への取り付け

取り付け準備	35
取り付けかた	37
取り付け後の確認	44

横向きベッド・後向き・前向き

横向きベッドにする	45
横向きベッド／お子さまの乗せかた	46
横向きベッド使用時の確認	49
後向き／お子さまの乗せかた	50
後向きにする	54
後向き使用時の確認	55
前向きにする	56
前向き／お子さまの乗せかた	57
前向き使用時の確認	60
車からの取り外しかた	61

お手入れ

シートカバーの外しかた	62
シートカバーの取り付けかた	64
お手入れ・保管・廃棄のしかた	65
製品仕様	65
取り付け可能車種一覧表	66
困ったときには	67
保証について	69
アフターサービスについての連絡先	70

ご使用前に

チャイルドシートについて

- ・チャイルドシートはシートベルトで自動車の座席に固定して使用し、自動車事故などの際に、お子さまの傷害を軽減しますが必ずしも事故からお子さまを無傷で守るものではありません。
- ・日本国内及び、ECE規則を批准している国での使用は可能です。保証については日本国内においてのみ有効です。

本書の表示について

- ・「危険」、「警告」、「注意」の表示は、これらの注意事項が守られなかった場合に予想される、危害・損害の切迫度の大きさにより区分したものです。大変重要な内容ですので、必ずお守りください。

表示	表示の内容
 危険	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されます。
 警告	誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定されます。

保護者の方へのアドバイス

- ・お子さまをはじめて車に乗せる時から、チャイルドシートの使用を習慣にしてください。
- ・長距離を走る場合は、1時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげてください。また、発達段階にあった姿勢をとってあげることも大切です。



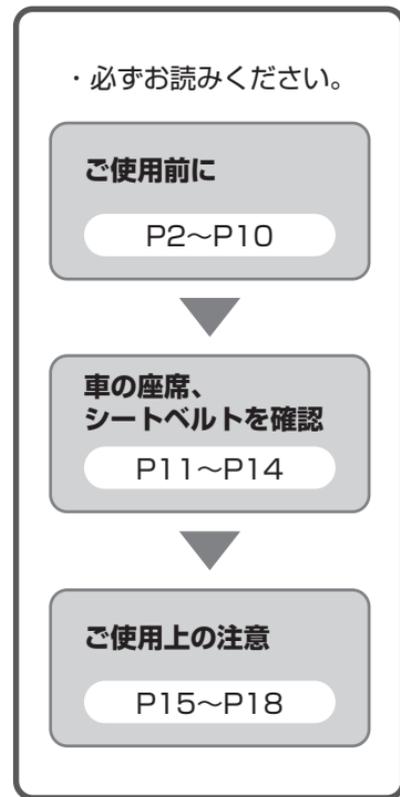
製品の取扱いにおける禁止行為です。



製品の取り扱いで知っておくと便利な内容です。

取り付ける手順

ご使用前に



お子さまの体重
2.5kgから
9kg未満

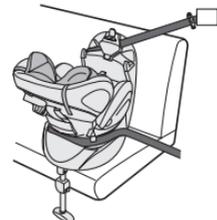
お子さまの体重
首すわりから
10kg未満

お子さまの体重
9kgから
18kgまで

横向きベッド



後向き



前向き



取り付ける前に

P20~P34

- ・肩ハーネスの高さ調節
- ・パッド類の取り付け、取り外し

車への取り付け

P35~P44

- ・車への取り付け
- ・レッグサポートの取り付け
- ・取り付け後の確認

横向きベッド

P45~P49

- ・横向きベッドにする
- ・お子さまを乗せる
- ・横向きベッド使用時の確認

後向き

P50~P55

- ・お子さまを乗せる
- ・後向きにする
- ・後向き使用時の確認

前向き

P56~P60

- ・前向きにする
- ・お子さまを乗せる
- ・前向き使用時の確認

日常の点検

P19

ご使用前に

各部のなまえ

梱包内容

・ご使用前に、各部品がそろっていることをご確認ください。

〈付属品〉



ベルト
クリップ



取扱説明
DVD



お客様
登録カード



取扱説明書
(本書)

〈重要〉

・お客様登録カードは、弊社よりリコールや自主回収などチャイルドシートに係わる重要な情報を連絡する際に必要となります。お買い上げ日より1カ月以内に投函してください。

〈パッド類〉 (P31参照) ・箱から取り出した状態では、本体にセットされています。

〈Deaturn〉



アジャスト成長マモール



肩パッド



頭マモールパッド



腰パッド

〈Fladea〉



アジャスト成長マモール



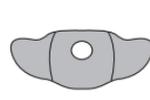
肩パッド



頭マモールパッド



腰パッド



ヒップインナーシート

肩パッド

肩ハーネス

タンク

腰ハーネス

バックル

股ハーネス

股ハーネスカバー

レッグサポート

座面カバー

調節ベルト

調節レバー

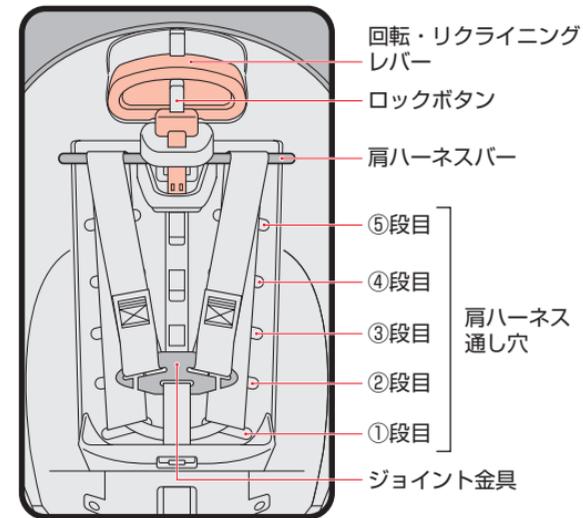
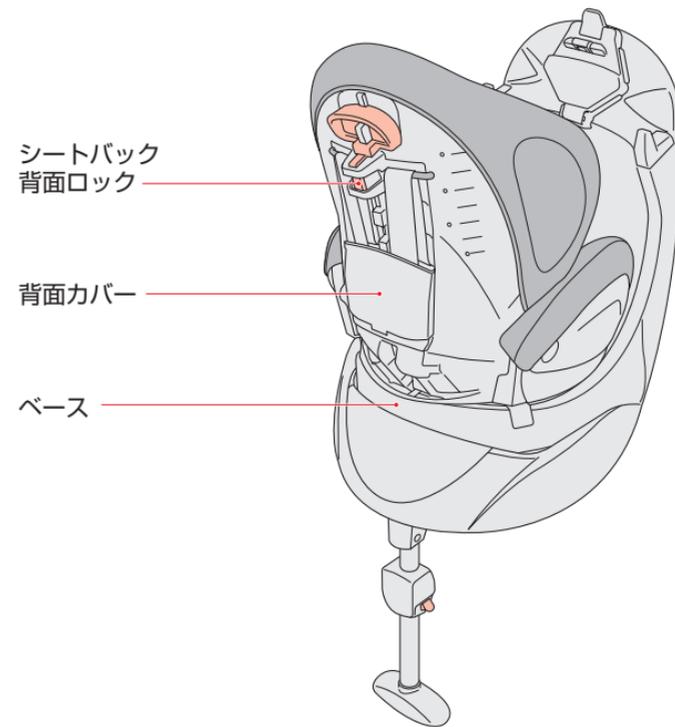
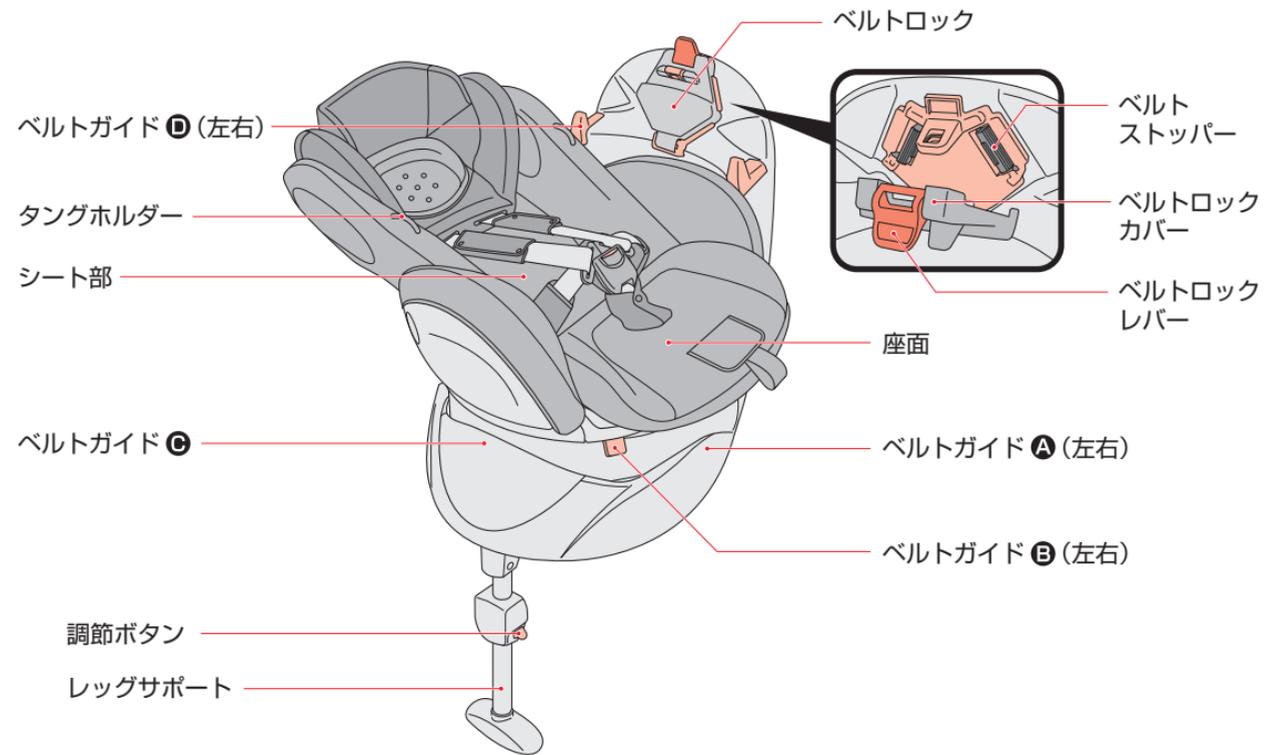
取扱説明書
収納ポケット

固定バー

※本書(取扱説明書)は収納ポケットに常備してください。

各部のなまえ

ご使用前に



〈背面カバー内側〉

ご使用前に

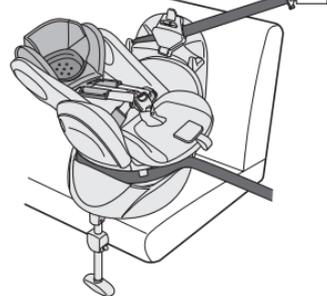
お子さまの条件

- ・下記の条件を満たさないお子さまには**絶対使用しないでください**。
条件を満たさないお子さまには事故時に十分な効果を発揮できません。

お子さまの体重にあわせて、3通りの使いかたがあります。

体重2.5kgから9kg未満

〈横向きベッド〉



- ・お子さまの足が座面からはみ出さないこと。

〈肩ハーネス通し穴位置〉

- ・お子さまの成長にあわせて下から1、2、3段目を使用。(P23~24参照)

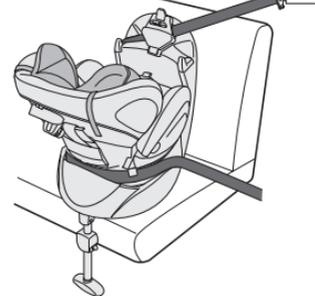
〈パッド類〉

- ・アジャスト成長マモール使用
- ・腰パッド使用
- ・頭マモールパッド使用可能

- ・背もたれを2段倒す。(ベッド)

首すわりから10kg未満

〈後向き〉



- ・首がすわっていること。

〈肩ハーネス通し穴位置〉

- ・お子さまの成長にあわせて下から2、3、4段目を使用。(P23~24参照)

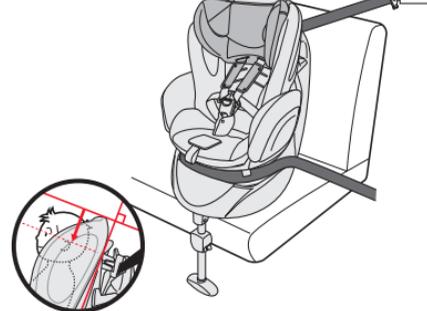
〈パッド類〉

- ・アジャスト成長マモール使用可能(窮屈になったら外してください。)
- ・腰パッド使用可能

- ・背もたれを1段倒す。

体重9kgから18kgまで

〈前向き〉



- ・体重が9kg未満のお子さまは前向きでは使用できません。

〈肩ハーネス通し穴位置〉

- ・お子さまの成長にあわせて下から3、4、5段目を使用。(P23~24参照)

〈パッド類〉

- ・アジャスト成長マモール使用可能(窮屈になったら外してください。)

- ・背面ロックがかかっていること。
- ・お子さまを座らせた時、耳の上端部が本体の上端部より下になること。



警告

- ・お子さまの足が座面からはみ出した状態で使用しない。



危険

- ・体重の条件を満たしていないお子さまは使用できません。

座席の条件

〈お奨めする取り付け座席の位置〉

- ・お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをお奨めいたします。ただし、フロントエアバッグが装備された助手席には取り付けできません。

〈サイドエアバッグが装備された座席に取り付ける場合の注意〉

- ・サイドエアバッグやカーテンエアバッグのみの座席には使用できません。
- ・車の取扱説明書に記載がある場合は指示に従ってください。

〈取り付けできない座席〉・座席の位置及び装備

- ・車のヘッドレストが外せず、ヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉する座席。



- ・進行方向に対して横向き及び後ろ向きの座席。



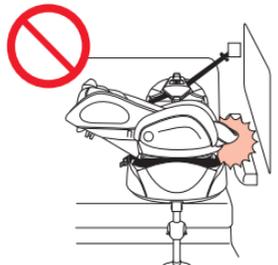
- ・フロントエアバッグが装備された助手席。



- ・ピラーなどに接触して、正しく取り付けできない座席。



- ・座面が車のドアトリムなどに干渉し、ドアを閉めることができない座席。



〈取り付けできない座席〉・座席の形状

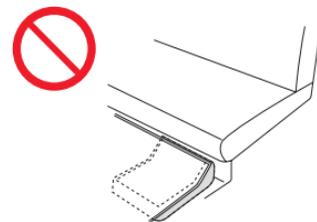
- ・極端に奥行きが短い座席。(補助席や幼児専用座席)
- ・極端に奥行きが長い座席。(ベースが車の背もたれに全く接しない座席)



- ・レッグサポートが車の床に全く接しない座席。
- ・レッグサポートを一番短くしても座面に25mm以上隙間ができる座席。



- ・車のフロアに、ヒューズボックス、収納型シート、コンソールボックス、スペアタイヤの収納スペースなどがある座席。



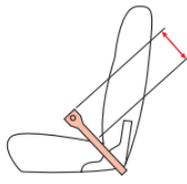
- ・座面のフラット面が極端に狭く正しく取り付けができない座席。(極端なバケットシート、スポーツ車、レース車、補助座席、幼児専用座席、市販座席に取り替えられた車両など)



シートベルトの条件

〈取り付けできない座席〉

- ・シートベルトの取り付け幅が極端に小さくベースでバックルを踏みつける座席。
- ・バックル側のベルトが固い樹脂製などでかつ極端にバックルが長い座席。(一部のRV車)
- ・バックルが極端に高い位置から出て、しっかり取り付けができない座席。



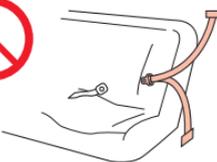
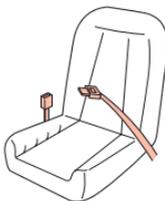
〈シートベルトの条件〉

- ・本装置は、ECE規則No.16または他の同等の基準に基づいて認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備した車に限り使用できます。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR付シートベルト (緊急ロック式巻取装置付)	通常はシートベルトが肩側の取り付け部から自由に出し入れでき、急ブレーキや衝突などの時だけロックされる。	シートベルトをゆるやかに引き出し使用すること。
ALR/ELR付シートベルト (チャイルドロック機構付)	シートベルトを全て引き出すと、入る方向にしか動かなくなる機構付です。全て巻き取るとロックが解除されます。	シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。
その他	上記に当てはまらないシートベルト。	本製品は、ご使用できません。

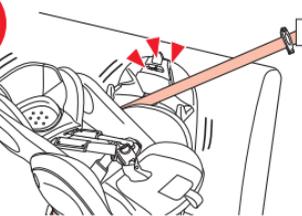
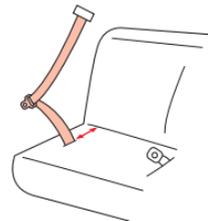
〈以下のシートベルトでは使用しないでください〉

- ・2点式シートベルトの座席。
- ・シートベルトの取り付け部が上下共巻き取り式の座席。
- ・パッシブシートベルトの座席。(座席に座ってドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される座席)
- ・市販のスポーツタイプのシートベルトが装備されている座席。



〈以下の3点式シートベルトでは使用しないでください〉

- ・バックル及び腰シートベルトが極端に前方から出て、リクライニング機構もなく、しっかり取り付けできない座席。
- ・シートベルトの長さが極端に短く、本体が固定できない座席。



ご使用上の注意



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・体重2.5kg未満及び18kgを超えるお子さまには使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

・いかなる場合にも、フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。



・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。



・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。



・補助座席、幼児専用座席には使用しない。



・チャイルドシートの固定が不完全でシートベルトに“ゆるみ”がある場合は使用しない。



・前向き使用時、背面ロックが掛かっていない状態で使用しない。



危険

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容です。

・レッグサポートを取納した状態で使用しない。



・お子さまが立ったり、中腰、正座をした状態では使用しない。



・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。及び物を挟んで使用しない。



・ベッド以外で横向きに使用しない。



・チャイルドシートのバックルを解除した状態で使用しない。



・チャイルドシートを本書及び、本体表示ラベルの説明以外の方法で取り付けない。



ご使用上の注意



警告

誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- ・お子さまを一人で車内に残さない。
- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。
- ・腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。
- ・同時に二人以上で使用しない。
- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
(例：片側スライドドアのドア側座席など)
- ・チャイルドシートの底面の一部分にクッション、座布団などを敷かない。
- ・肩ハーネスや股ハーネスに損傷、亀裂、焦げなどがある場合は使用しない。
- ・肩ハーネスは、お子さまの肩以外の位置で使用しない。
- ・車の走行中にベルト調節、リクライニングや回転などの操作を行わない。
- ・チャイルドシートを使用中、お子さまにバックルの解除ボタンを触らせない。
- ・車のヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーに干渉した状態で取り付けない。

- ・バックルに水やジュース、泥水、ゴミなどが入った場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・レッグサポートに水やジュース、泥水、ゴミなどが入り高さ調節ができない場合は使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・事故や落下などによる強い衝撃が加わった後は使用しない。
- ・本製品を分解、改造、及び指定部品以外の交換はしない。
- ・シートカバーやクッション材を外したり、他のものと交換したり、破れた状態で使用しない。
- ・お子さまの遊び道具として使用させない。
- ・保護者、介添者などが椅子など腰掛けとして使用しない。
- ・梱包袋はお子さまがかぶらないよう放置しない。

・本製品の取り付けや取り扱いに関する不明点がありましたら、販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。(P70参照)

車のヘッドレストとチャイルドシートの背もたれが干渉し、衝突などの緊急時に、充分な性能を発揮できないおそれがあります。

- ・お子さまを拘束したままリクライニングを起こさない。
- ・お子さまの耳の上端部が本体の上端部より上に出ないこと。



注意

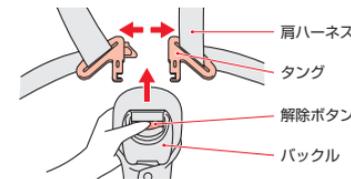
誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負ったり、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

- ・チャイルドシートを直射日光にさらさない。
金属部分などが熱くなり、やけどのおそれがあります。
- ・可動式シートまたは、車のドアにチャイルドシートの剛性部分やプラスチック部分を挟まない。
- ・シートベルトで固定していないチャイルドシートを車内に置かない。また、衝突の際に傷害の原因になるおそれのある荷物などは車内に置かない。
- ・チャイルドシートがシフトレバーやパーキングブレーキなどの操作に支障をきたす座席には取り付けない。
- ・車の座席が革仕様の場合には、直接取り付けない。(別売の保護マットを使用する。)
- ・火などの近くに放置したり、長時間屋外に放置しない。
- ・シートベルトで固定せずに、通常の椅子として使用しない。
- ・お子さまが乗っていない場合でも、チャイルドシートのタングはバックルから外しておかない。
- ・お子さまにチャイルドシートの取り付けや、操作をさせない。
- ・チャイルドシートに重量物を載せない。
- ・砂やほこりの多い場所で使用するとベースなど可動部分に詰まり故障の原因になります。
- ・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
- ・本体に貼り付けられたシールは、はがさない。

緊急時のお子さまの降ろしかた

緊急の時はあわてずに…

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②肩ハーネスをお子さまから外す。
- ③お子さまをチャイルドシートから降ろす。
- ④安全な場所へ避難する。



バックルからタングが抜けない時は…

- チャイルドシートの肩ハーネスをシートベルトカッター(市販品)などで切り、お子さまを降ろす。

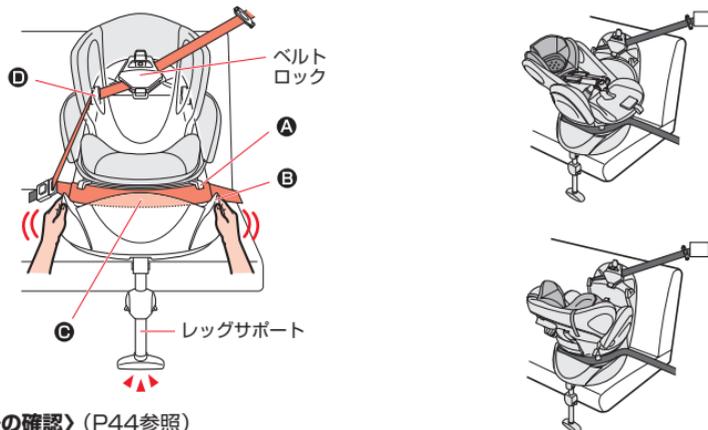


日常の点検

・お子さまを乗せる前にチャイルドシートが確実に取り付けられているか確認してください。

確実に固定されていないと、急ブレーキや衝突時などに、チャイルドシートが正しく機能せず、大変危険です。最悪の場合、死亡につながるおそれがあります。

・チャイルドシートの本来の機能を果たすため、走行前に各項目を点検してください。



〈取り付け後の確認〉(P44参照)

- ・車のシートベルトがベルトガイドA・B・C・Dを通り、ベルトロックで固定している。
- ・ベース部分を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が約3cm以上ずれない。
- ・レッグサポートが車のフロアに接している。
- ・車のシートベルトに緩み、たるみがない。(シワは問題ありません。)
- ・車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれている。

〈横向きベッド使用時〉(P49参照)

- ・肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。
- ・肩パッドが肩の位置にあること。
- ・お子さまの足が座面の先端から出していないこと。
- ・アジャスト成長マモールが取り付けられ、ヘッドガードが起こされていること。
- ・アジャスト成長マモール下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせること。
- ・腰パッドが取り付けられていること。

〈後向き使用時〉(P55参照)

- ・肩ハーネスが肩よりすぐ上の位置を通っていること。
- ・肩パッドが肩の位置にあること。
- ・お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

〈前向き使用時〉(P60参照)

- ・肩ハーネスが肩よりすぐ上の位置を通っていること。
- ・肩パッドが肩の位置にあること。
- ・お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。
- ・ロックピンが入っていることを目視で確認すること。
- ・背面ロックがロックされていることを手で動かして確認すること。

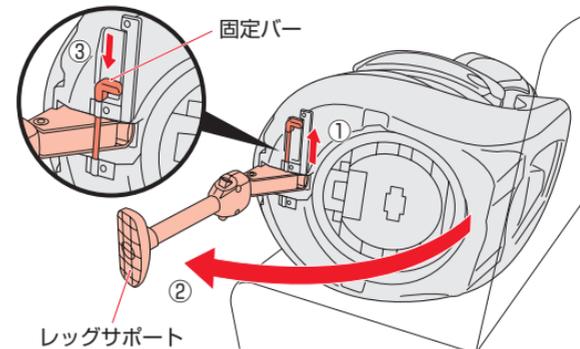
レッグサポートの使いかた

1

- ①固定バーを引き抜き、ロックを外す。
- ②レッグサポートを起こす。
- ③固定バーを差し込み、ロックする。



作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせて行ってください。



警告

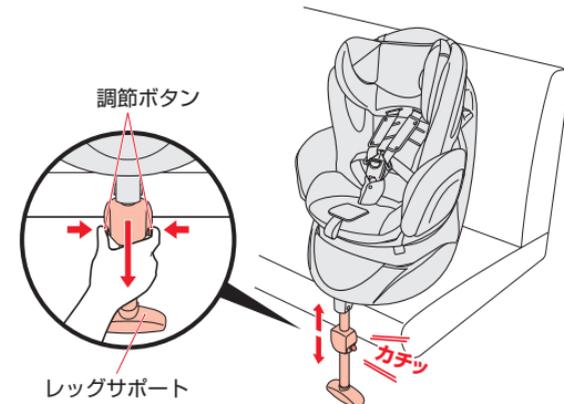
- ・手、指などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- ・固定バーを必ずロックすること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

注意

- ・周囲のものにぶつけないように注意してください。

2

調節ボタンを押して長さを調節する。



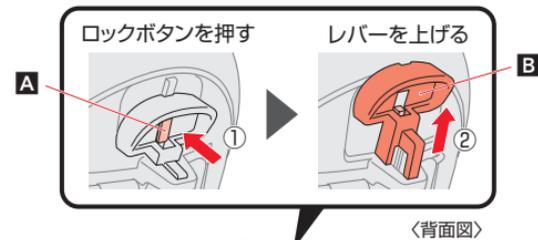
・レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。

警告

- ・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

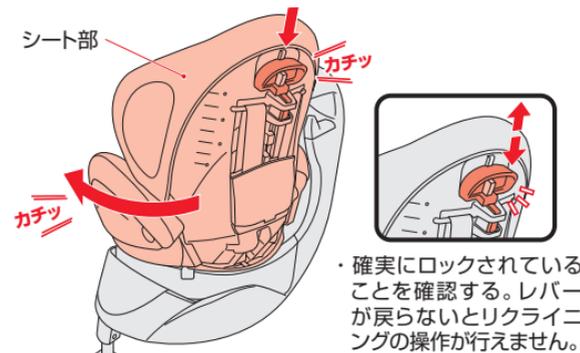
シート部の回転のしかた

- 1** ①背もたれ背面のロックボタン**A**を押しながら、
②レバー**B**を上げる。



注意 必ずロックボタンを押してからレバーを上げてください。

- 2** レバーを上げたままシート部を回し、動き始めたらレバーとロックボタンを離す。シート部が横・後向きになるとレバーとロックボタンが戻りロックされます。

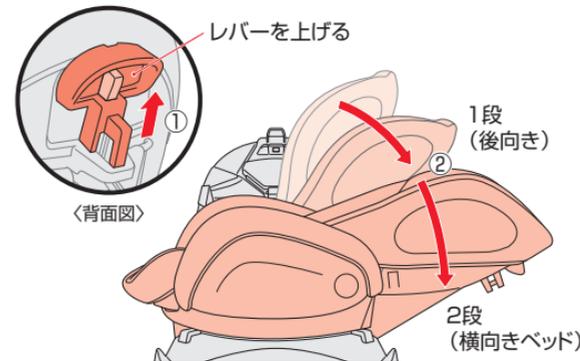


警告

- ・回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。
- ・シート部を回転させるときに座っているお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- ・回転後、ロックボタン、レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

リクライニングの使いかた (横向きベッド・後向き使用時のみ)

- 1** ①背もたれ背面のロックボタンを押さずにレバーを上げて、
②背もたれを倒す。



警告

- ・リクライニング操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。
- ・リクライニング操作時に座面の隙間に指を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。

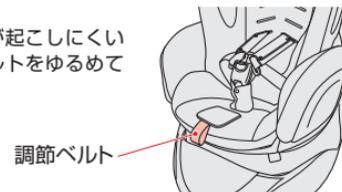
- 2** シート部を上下にゆすり、しっかり固定されていることを確認する。

・確実にロックされていることを確認する。レバーが戻らないと回転の操作が行えません。

警告

- ・操作後、レバーが戻り、シート部が固定されていること。性能が充分発揮されません。
- ・リクライニング操作は車の走行中に行わない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

アドバイス リクライニングが起こしにくい場合は、調節ベルトをゆるめてください。



肩ハーネスの高さ調節のしかた

- ・各ポジションにより、使用する肩ハーネス通し穴の位置が異なります。
- ・お子さまの体格にあわせて、肩ハーネス通し穴の位置を調節してください。

・お子さまをチャイルドシートに乗せて、正しい肩ハーネス通し穴の位置を調節してください。

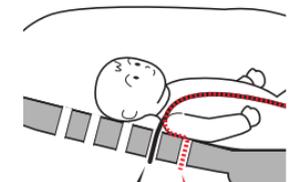
横向きベッド 使用時



②肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を使用する。

■肩ハーネス通し穴の位置

①下から
1～3段目を使用する。



○ 肩から近い
○ 肩から遠い



・横向きベッド使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から1～3段目以外では使用しない。
・お子さまの肩から遠い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

体重	参考身長	肩ハーネスの位置(目安)
2.5kgから 9kg未満	50cm位	下から1段目
	60cm位	下から2段目
	70cm位	下から3段目

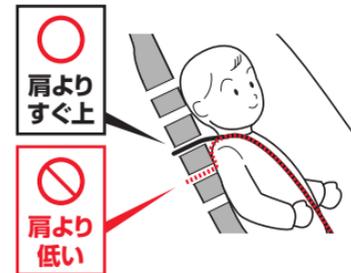
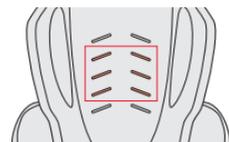
後向き使用時



②肩よりすぐ上の位置の肩ハーネス通し穴を使用する。

■肩ハーネス通し穴の位置

①下から
2～4段目を使用する。



○ 肩よりすぐ上
○ 肩より低い



・後向き使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から2～4段目以外では使用しない。
・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

体重	参考身長	肩ハーネスの位置(目安)
首すわりから 10kg未満	60cm位	下から2段目
	70cm位	下から3段目
	80cm位	下から4段目

前向き使用時



②肩よりすぐ上の位置の肩ハーネス通し穴を使用する。

■肩ハーネス通し穴の位置

①下から
3～5段目を使用する。



○ 肩よりすぐ上
○ 肩より低い



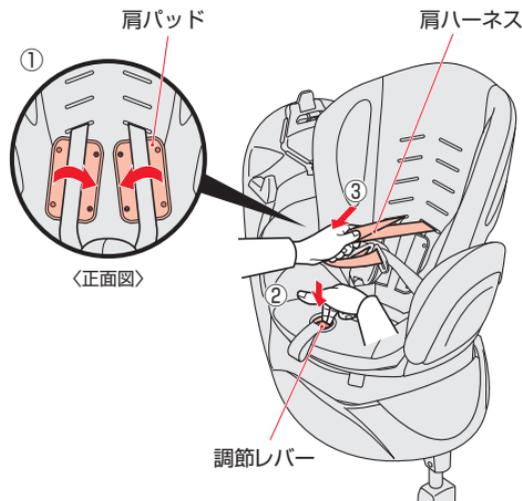
・前向き使用時の肩ハーネス通し穴位置は、下から3～5段目以外では使用しない。
・お子さまの肩より低い肩ハーネス通し穴を使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

体重	参考身長	肩ハーネスの位置(目安)
9kgから 18kgまで	70cm位	下から3段目
	80cm位	下から4段目
	100cm位	下から5段目

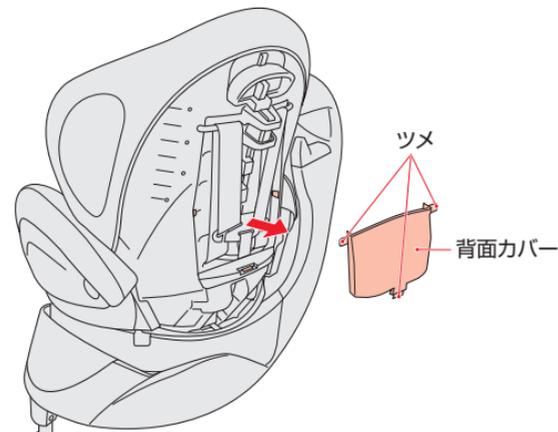
- ・参考身長は目安です。お子さまの肩の高さに合わせて調節してください。
- ・パッド類の取り付けが必要です。お子さまの発育状況により使用してください。(P31参照)

肩ハーネスの高さ調節のしかた

- 1** ①左右の肩パッドのホックを外す。
②調節レバーを押しながら、
③左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。



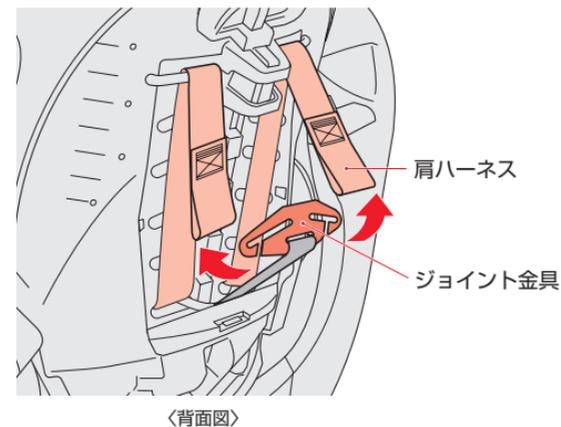
- 2** 背面カバーのツメ（3カ所）を外す。



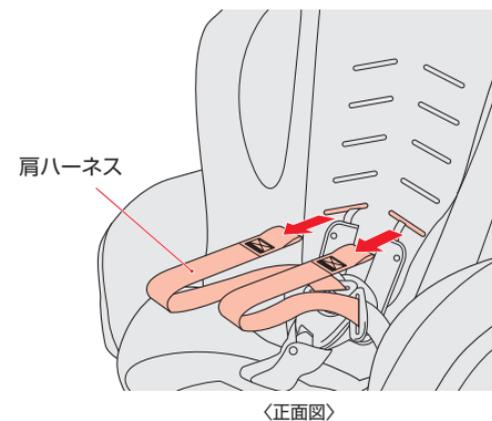
注意

・背面カバーを取り外した状態で本体を回転させない。

- 3** 左右の肩ハーネスをジョイント金具から取り外す。

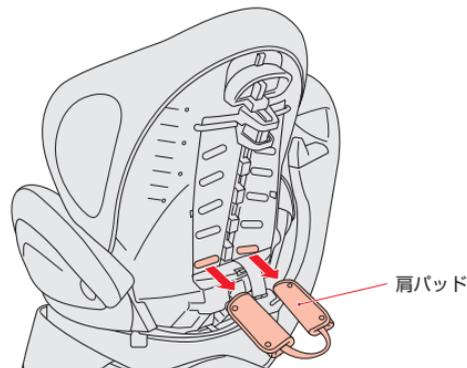


- 4** 左右の肩ハーネスをシート前側から引き抜く。



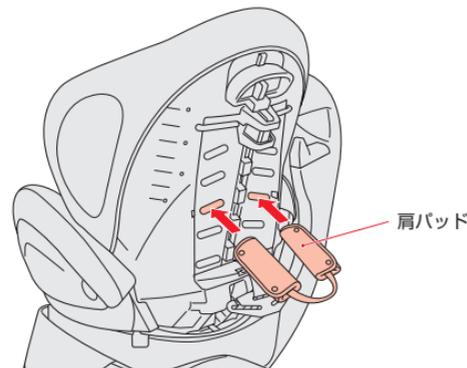
肩ハーネスの高さ調節のしかた

5 肩パッドを背面側から引き抜く。(左右)



〈背面図〉

6 肩パッドをお子さまの肩の位置にあった肩ハーネス通し穴に通す。(P23参照)



〈背面図〉

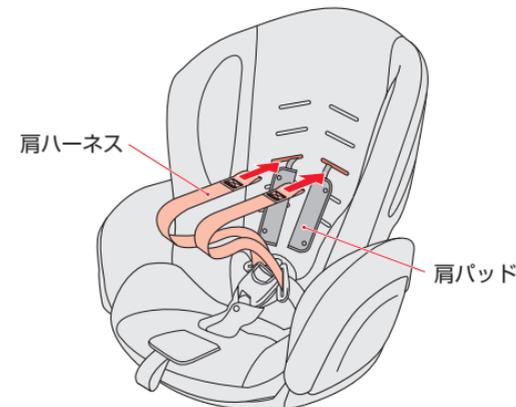


肩ハーネス調節時にパッド類の取り付けを行います。(P31参照)



・肩パッドを左右逆で使用しない。
・肩パッドを左右違う高さで使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

7 左右の肩ハーネスを肩パッドを通した肩ハーネス通し穴に通す。

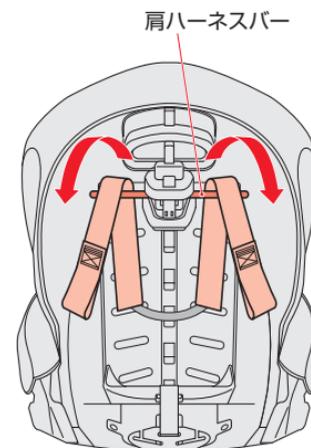


アジャスト成長マモールを使用する場合は肩ハーネスを肩ハーネス通し穴に通す前にアジャスト成長マモールを通します。(P32参照)



・肩ハーネス通し穴は、肩パッドを通した穴以外では使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

8 左右の肩ハーネスを肩ハーネスバーに通す。



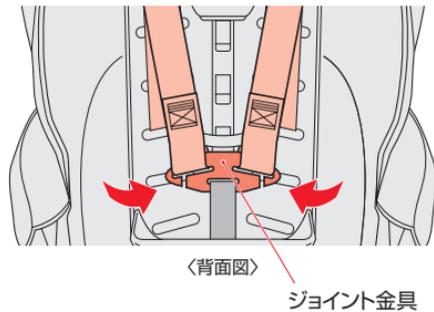
〈背面図〉



・左右の肩ハーネスを肩ハーネスバーに通さずに使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

肩ハーネスの高さ調節のしかた

9 肩ハーネスをジョイント金具に差し込む。

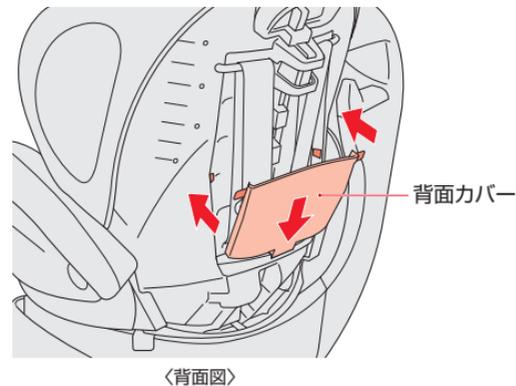


警告

・肩ハーネス、調節ベルトがねじれた状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

肩ハーネス
調節ベルト

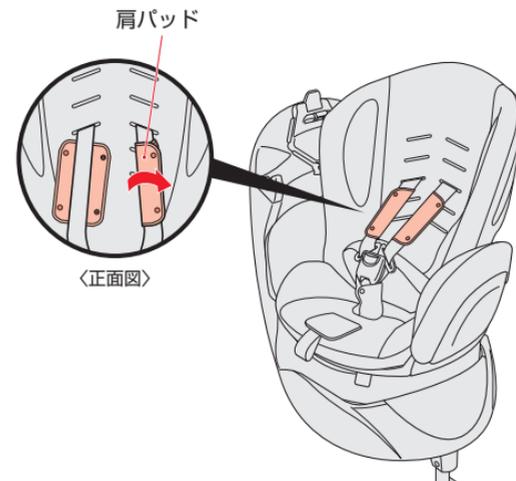
10 背面カバーを取り付ける。



注意

・背面カバーを閉じたとき、肩ハーネスが、はみ出していないこと。

11 肩パッドを肩ハーネスに巻き付け、ホックをとめる。

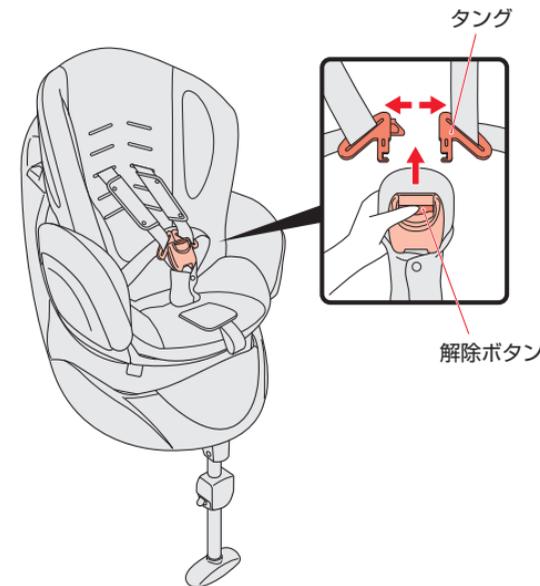


警告

・肩パッドを取り外した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

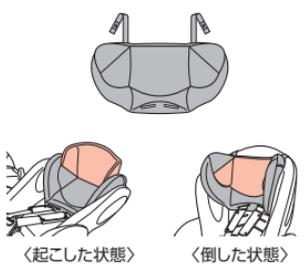
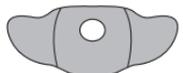
〈タングの外し方〉

バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。



パッド類の使いかた

・お子さまの発育状況により下記の表を参考に使用してください。

取付方法	アジャスト成長マモール	腰パッド	肩パッド	頭マモールパッド	ヒップインナーシート
	 <起こした状態> <倒した状態>				
横向きベッド	必要 (ヘッドガードは起こす)	必要	必要	取り外し可	取り外し可
後向き	取り外し可 (ヘッドガードは倒す)	取り外し可	必要	使用できません	取り外し可
前向き	取り外し可 (ヘッドガードは倒す)	使用できません	必要	使用できません	取り外し可

・タンク、肩ハーネス、肩パッドを取り外し(P25～30参照)、P32 **1** ~ P34 **6** の手順でパッド類を取り付けてください。



後向き・前向き時も、アジャスト成長マモールの
ご使用をおすすめします。

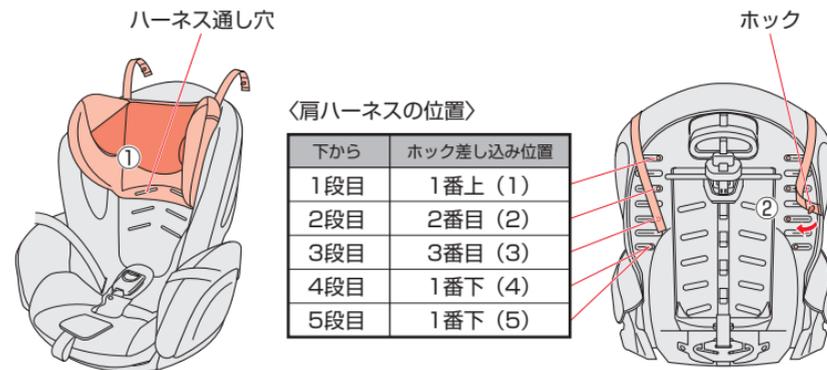


・肩パッドを取り外した状態で使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

1

〈アジャスト成長マモールの取り付け〉

- ①アジャスト成長マモール穴位置を肩ハーネス通し穴に合わせる。(P23参照)
- ②ホックを背もたれ背面にたるみがないように差し込む。(左右)

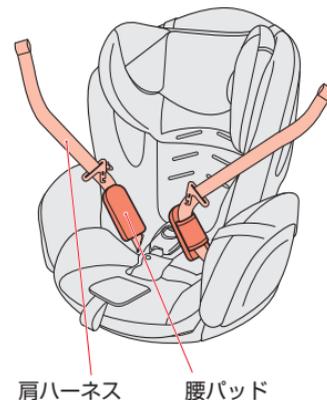


・肩ハーネス通し穴が下から3段目の場合、3番目(3)のホック差し込み位置にホックを差し込みます。

2

〈腰パッドの取り付け〉

- ・肩ハーネスを通して取り付ける。

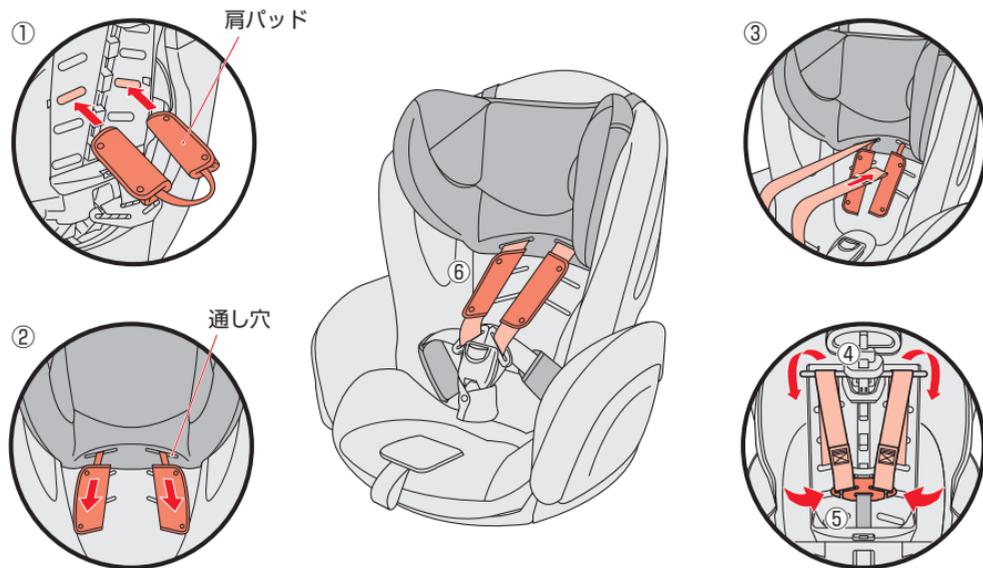


パッド類の使いかた

3 <肩パッド・肩ハーネスの取り付け>

- ① 肩パッドを背面から通し、
- ② アジャスト成長マモールの通し穴に通す。
- ③ 肩ハーネスを通す。

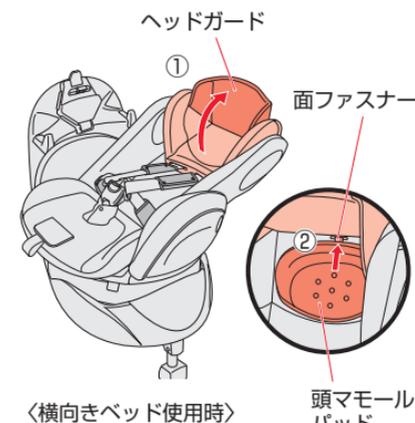
- ④ 肩ハーネスを肩ハーネスバーに通す。
- ⑤ 肩ハーネスをジョイント金具にとめる。(P29参照)
- ⑥ 肩パッドを肩ハーネスに巻き付け、ホックをとめる。



4 <頭マモールパッドの取り付け>

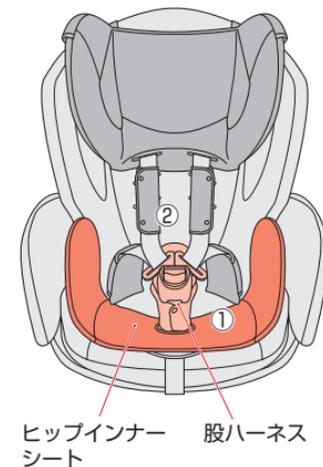
- ① ヘッドガードを起こす。
- ② 頭マモールパッドの面ファスナーを差し込み、とめる。

・頭マモールパッドは横向きベッド(下から1、2、3段目)で使用できます。



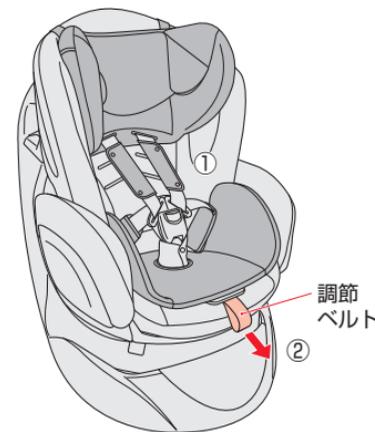
5 <ヒップインナーシートの取り付け> (Fladeaのみ)

- ① 股ハーネスを通し穴に通す。
- ② タングをバックルに差し込む。



6

- ① シート部を回転させ、前向きにする。
- ② 調節ベルトを引き、肩ハーネスを締め、ホックをとめる。



●お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。

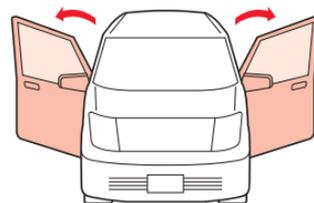
●本書では、左後部座席に取り付ける場合を例として説明しています。

●車の座席形状やシートベルトの種類により、取り付け出来ない場合があります。詳しくはP11～P14を参照してください。

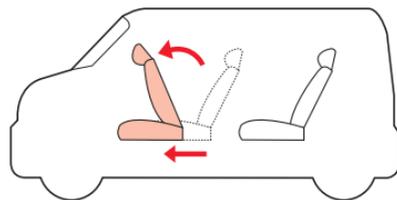
危険

- ・フロントエアバッグ装備車の助手席には本製品を取り付けない。
- ・チャイルドシートが確実に固定できない座席では使用しない。
- ・シートベルトに損傷がある座席には取り付けない。
- ・補助座席、幼児専用座席には使用しない。
- ・レッグサポートを収納した状態で取り付けない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

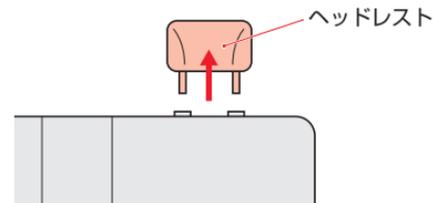
1 <取り付け作業のスペース確保>
①取り付け作業は、ドアの全開閉が可能な、広く平らな場所で行ってください。



②作業前に前座席を倒したり、スライドさせることで車内での作業スペース確保できます。



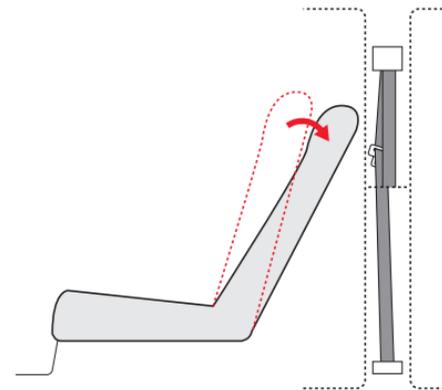
2 <取り付ける座席の準備>
ヘッドレストが取り外せる場合は取り外す。



警告

- ・緊急時の脱出の妨げになる座席にはチャイルドシートを取り付けない。
- ・ヘッドレストを外さずに取り付けるとヘッドレストと背もたれが干渉するおそれがあります。衝突などの際に充分性能を発揮できません。
- ・車のヘッドレストが取り外せない場合は、座席の背もたれを少し倒し、ヘッドレストとチャイルドシートのベルトロックレバーが干渉しないようにする。
- ・取り外したヘッドレストはトランクルームやカーゴルームに保管すること。

アドバイス 背もたれがリクライニングする場合は少し後方へ倒す。



警告

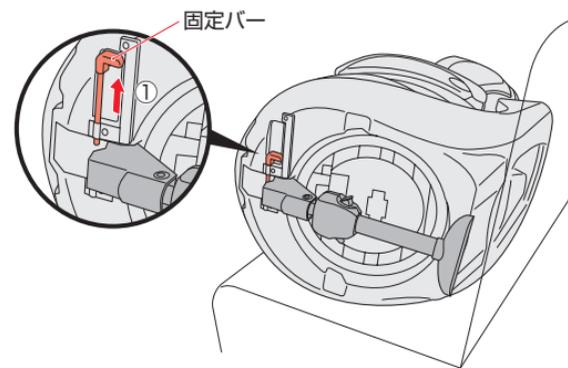
- ・車の座席がスライドできる場合は、座席の背もたれの上部がシートベルトの上部取り付け位置より後方にしない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

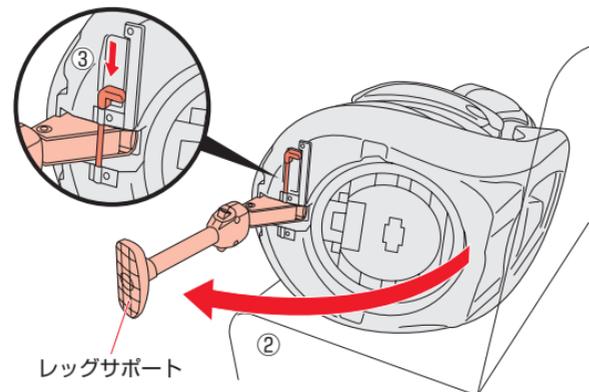
- ・本製品は、横向きベッド、後向き、前向きの3通りの使用方法がありますが、車への取り付けかたは共通です。車への取り付けが完了した後で、お子さまの体重に合わせてシート部を回してご使用ください。
- ・本書では助手席側後部座席での取り付けかたを説明しています。運転席側では取り付けかたが左右逆になります。

1 <レッグサポートを起こす>

- ①ベース底面の固定バーを引き、解除する。
- ②レッグサポートを起こす。
- ③固定バーを差し込み、ロックする。



作業するスペースを十分に確保し、本体を横に寝かせて行ってください。



・レッグサポートがしっかり固定されていることを確認する。



・手、指などを挟まないようにしてください。
思わぬ重傷を負う可能性があります。
 ・固定バーを必ずロックすること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



・周囲のものにぶつけないように注意してください。

2

<チャイルドシートをのせる>

チャイルドシートを車の後部座席にのせる。



お子さまの安全性を高めるために、運転席より後ろの列の座席に取り付けることをおすすめいたします。



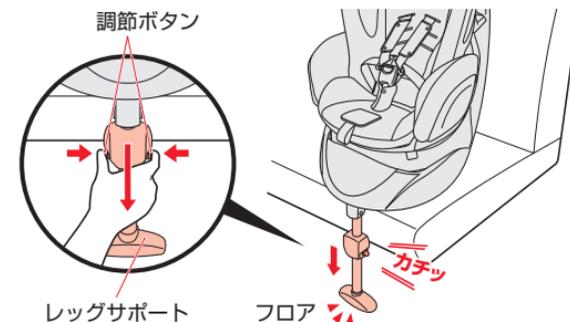
・車の座席が革仕様の場合には直接のせない。
 (別売のシート保護マットをご使用ください。)
座席の革をいためるおそれがあります。



3

<レッグサポートの長さを調節する>

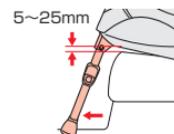
左右の調節ボタンを押し、レッグサポートを車のフロアに接するように調節する。



・レッグサポートがしっかり固定され、調節ボタンが「カチッ」とロックされていることを確認する。



・座席から少し、浮かせてください。
 (5~25mm程度)
 ・レッグサポートは前方へ傾けた状態で接地させてください。

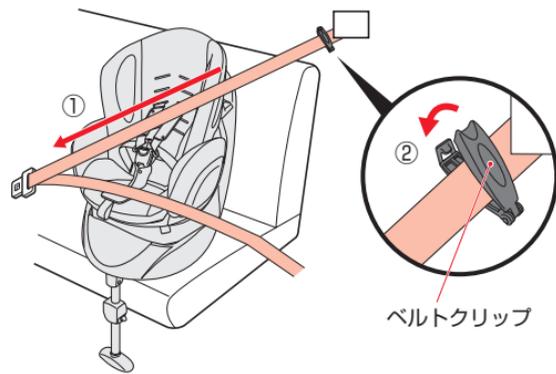


・レッグサポートが車のフロアから離れていないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

4 <車のシートベルトを取り付ける>

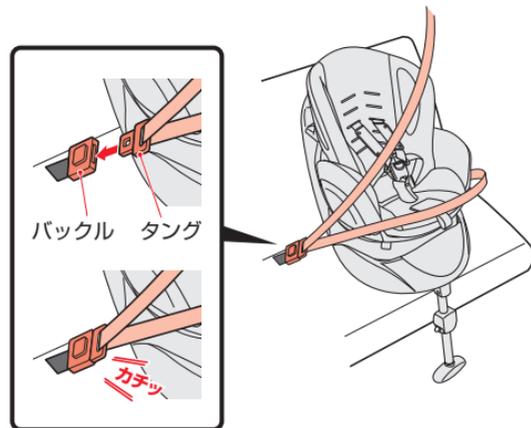
- ①シートベルトを全て引き出す。
- ②ベルトクリップで仮止めする。



・ALR/ELR (チャイルドロック機構付) のシートベルトの場合は、ロックがかかるとシートベルトを引き出せなくなります。この場合、シートベルトを全てもどすと、チャイルドシート固定機構が解除されます。(P13参照)

5

シートベルトのタングをバックルに差し込む。

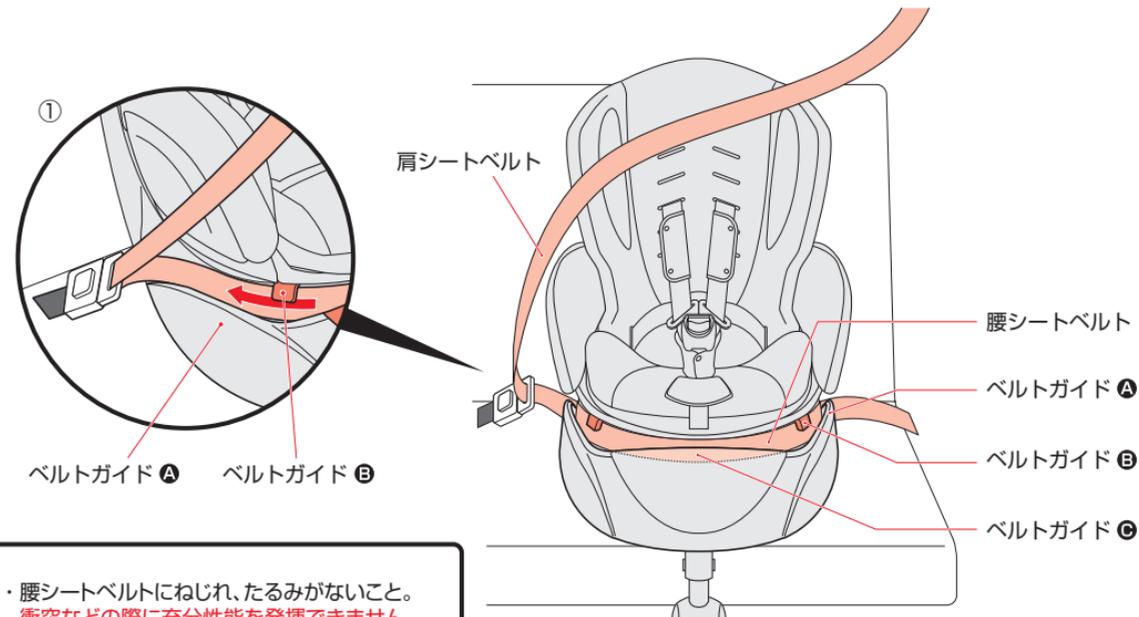


・シートベルトにねじれがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

6

<腰シートベルトを通す>

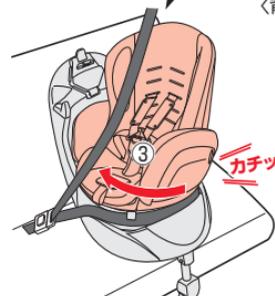
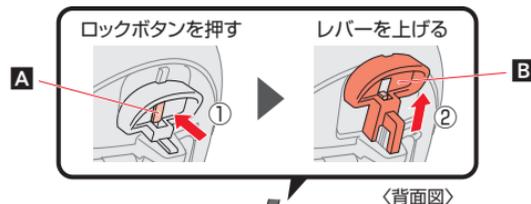
腰シートベルトを左右のベルトガイド A、B、正面のベルトガイド C の溝に通す。



・腰シートベルトにねじれ、たるみがないこと。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

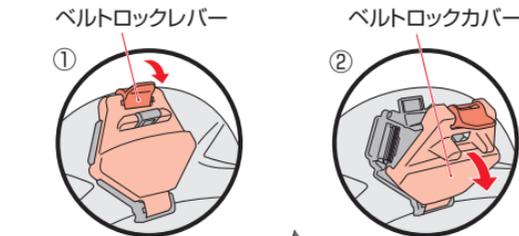
取り付けかた

- 7** <シート部を回して横向きにする> (P21 参照)
- ①背もたれ背面のロックボタン**A**を押しながら、
 - ②レバー**B**を上げ、
 - ③横向きに回転させる。

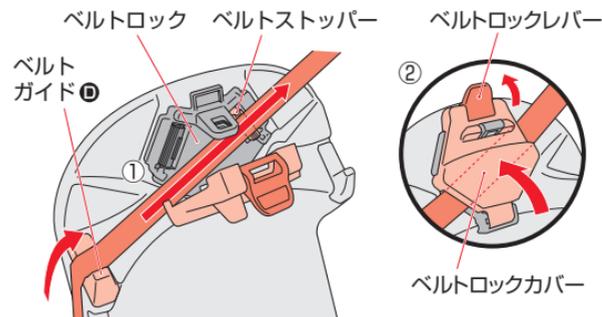


・シート部を回転させるときに手、指、おさまの足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
 ・回転後、ロックボタン、レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

- 8** <ベルトロックを開く>
- ①ベルトロックレバーを解除する。
 - ②ベルトロックカバーを開く。



- 9** <肩シートベルトを通し、ベルトロックを閉じる>
- ①肩シートベルトをベルトガイド**D**とベルトロックに通す。
 - ②肩シートベルトを引いたまま、ベルトロックカバーを閉じ、ロックする。



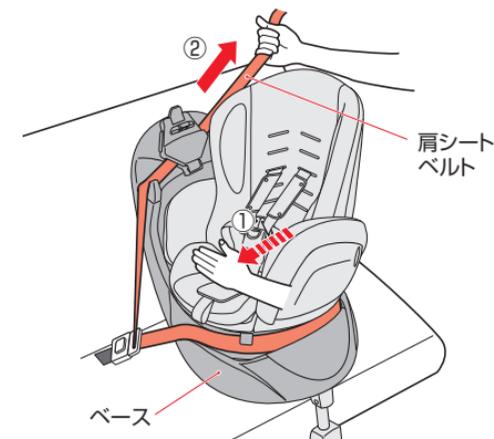
・肩シートベルトがベルトストッパーから、はみ出すなどして正しくセットされていないと、肩シートベルトの締め付けが行えない場合があります。その場合はベルトロックをロックし直してください。



・肩シートベルトがたるんだ状態で使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。



- 10** <肩シートベルトをしめつける>
- ①ベースを座席の背もたれに押しつけながら、
 - ②肩シートベルトを強く引く。



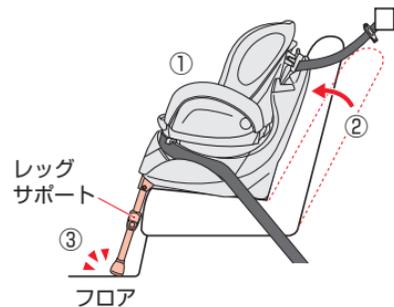
・肩シートベルトにねじれ、たるみがないこと。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

取り付けかた

11

〈座席の背もたれを起こす〉

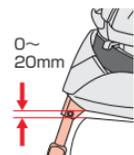
- ① 本体を前向きにする。
- ② 座席の背もたれをベースに強く当たるまで起こす。(可能な車の場合)
- ③ レッグサポートが車のフロアに接していることを確認する。



・車の座席がリクライニングできない場合は、ベースと座席の背もたれが接していること。

注意

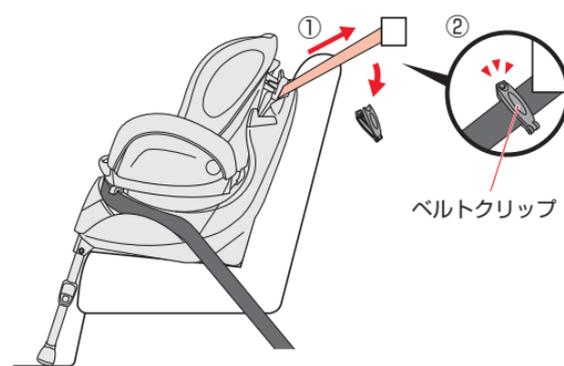
- ・ベースと座席の間隙が0~20mm未満であること。20mm以上のときは、レッグサポートを1段縮める。
- ・レッグサポートがフロアから浮いた場合は、シートベルトを取り外し、レッグサポートを伸ばしてもう一度取り付けてください。



12

〈肩シートベルトを巻き取る〉

- ① 仮止めしたベルトクリップを外し、余分な肩シートベルトを巻き取る。
- ② 再度ベルトクリップを取り付ける。



・必ず取り付け後の確認を行ってください。(P44参照)

取り付け後の確認

- ・取り付けが終わったら、チャイルドシートがしっかり固定されていることを必ず確認する。
しっかり固定されていないと、衝突などの際に、充分性能を発揮できません。

車のシートベルトに緩み、たるみがない。
(シワは問題ありません。)

車のシートベルトがベルトガイドA・B・C・Dを通り、ベルトロックで固定している。

車のシートベルトのタンクがバックルに差し込まれている。

ベルトガイドD

ベルトロック

ベルトガイドA

ベルトガイドB

ベース部分を両手で持ち、前後左右に動かしてベース部分が約3cm以上ずれない。

ベルトガイドC

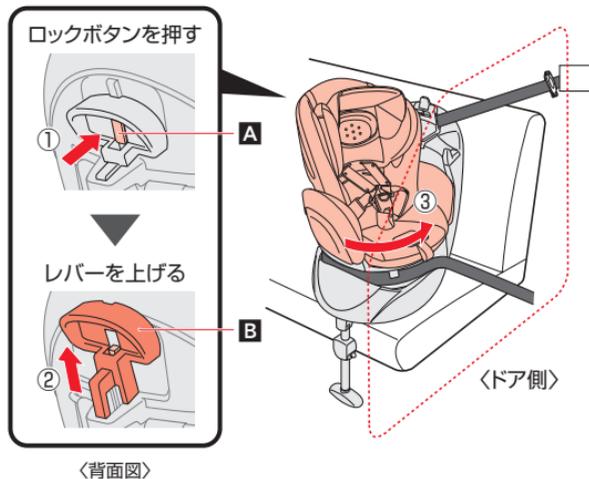
レッグサポート

レッグサポートが車のフロアに接している。

・全て確認し、しっかり固定できていない場合は、もう一度P37~P43の手順で取り付け直してください。

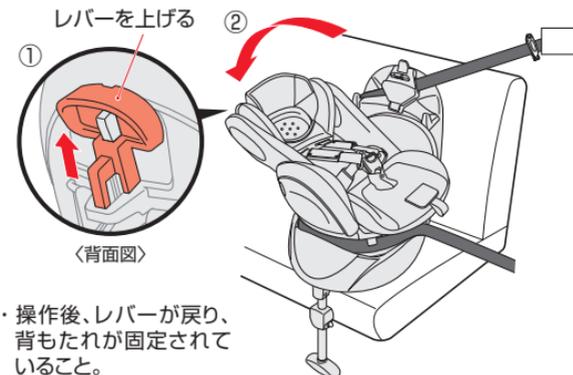
横向きベッドにする 〈体重：2.5kgから 9kg未満／肩ハーネス通し穴：下から1・2・3段〉

- 1** **〈シート部正面をドア側に回転させる〉** (P21参照)
- ① 背もたれ背面のロックボタン **A** を押しながら、
 - ② レバー **B** を上げ、
 - ③ シート部を横向きに回転させる。



- 警告**
- ・シート部を回転させるときに座っているお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。**けがを負うおそれがあります。**
 - ・回転後、ロックボタン、レバーが戻り、シート部が固定されていること。**衝突などの際に充分性能を発揮できません。**

- 2** **〈背もたれを倒す〉** (P22参照)
- ① 背もたれ背面のロックボタンを押さずにレバーを上げ、
 - ② 背もたれを倒す。

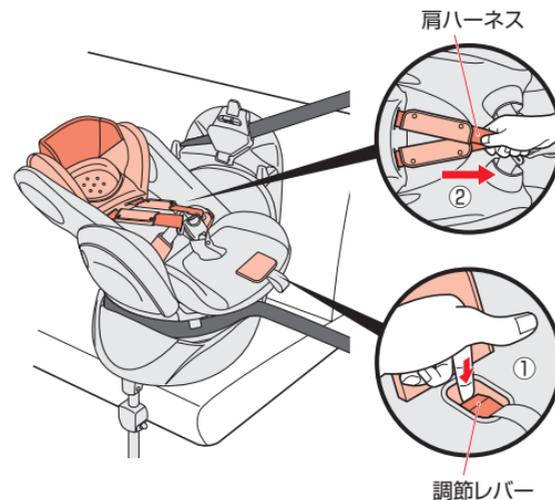


- 警告**
- ・リクライニング・回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。**手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。**
 - ・レバーが戻らない状態で使用しない。**性能が充分発揮されません。**

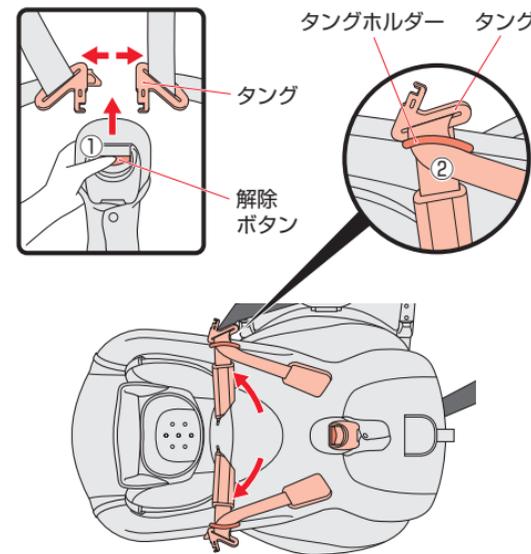
横向きベッド／お子さまの乗せかた 〈体重：2.5kgから 9kg未満〉

- 1** **〈肩ハーネスをゆるめる〉**
- ① 調節レバーを押しながら、
 - ② 左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)

- アドバイス**
- ・アジャスト成長マールが取り付けられ、ヘッドガードが起こされていること。(P31参照)
 - ・腰パッドが取り付けられていること。(P32参照)



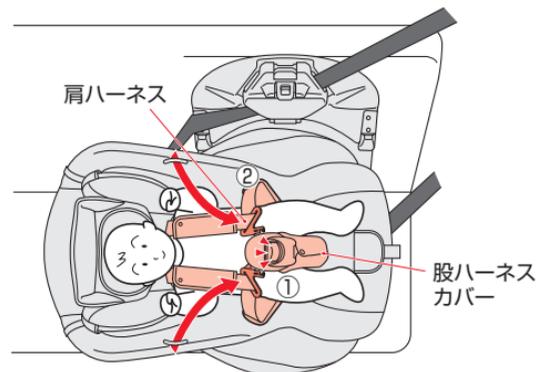
- 2** **〈タンクを外す〉**
- ① バックルの解除ボタンを押して、タンクを外す。
 - ② 左右のタンクをタンクホルダーに引掛ける。



横向きベッド／お子さまの乗せかた (体重：2.5kgから 9kg未満)

3 <お子さまを乗せる>

- ①お子さまの股間と股ハーネスカバーが接するように寝かせる。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。



・真上から見て肩ハーネスが肩に近い位置を通っていること。
(P23参照)

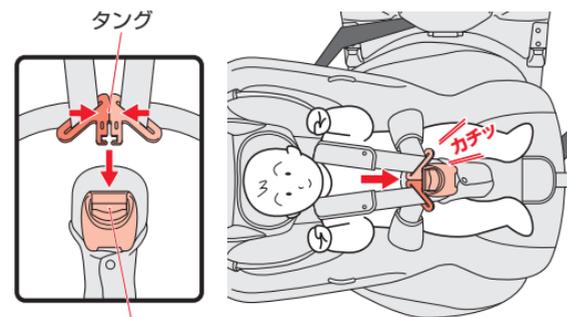
警告

- ・お子さまの足が座面の先端から出る場合は横向きベッドで使用しない。
- ・衝突などの際に充分性能を発揮できません。



4 <タングを差し込む>

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



警告

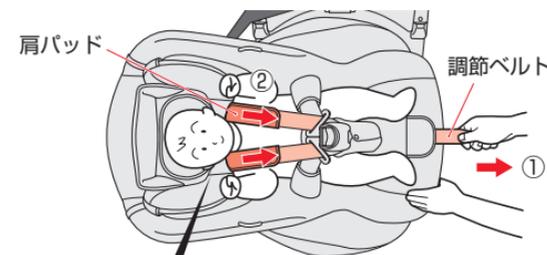
- ・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

5 <肩ハーネスを短く調節する>

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②肩パッドを、お子さまの肩の位置にあわせる。

アドバイス

- ・調節ベルトが引張れない場合は背もたれ背面でジョイント金具に引っ掛かりなどないか確認してください。(P29参照)
- ・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください

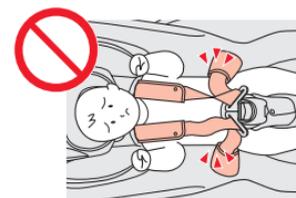


アドバイス

お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。

警告

- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。性能が充分発揮されません。



注意

- ・調節ベルトのホックが座面カバー裏側のホックにとまっていること。
- ・外れている時は、ホックをとめてください。外れた状態で本体を回転させると調節ベルトが巻き込まれるおそれがあります。



横向きベッド使用時の確認 〈もう一度ご確認ください。〉



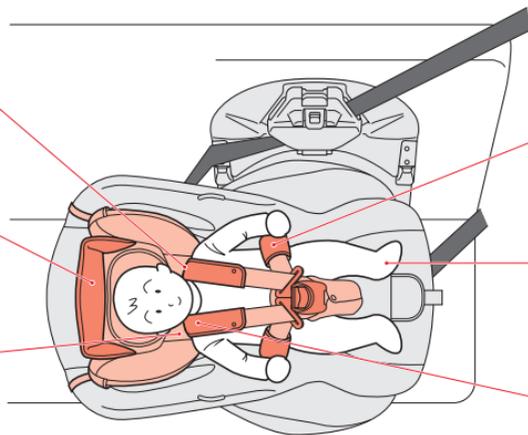
警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。性能が充分発揮されません。

肩に近い位置の肩ハーネス通し穴を通っていること。

アジャスト成長マモールが取り付けられ、ヘッドガードが起こされていること。

アジャスト成長マモール下部のふくらみをお子さまの首の後ろに合わせること。



腰パッドが取り付けられていること。

お子さまの足が座面の先端から出ていないこと。

肩パッドが肩の位置にあること。

- ・正しくできていない場合は、もう一度P45～P48の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

後向き／お子さまの乗せかた 〈首すわりから 10kg未満〉

1

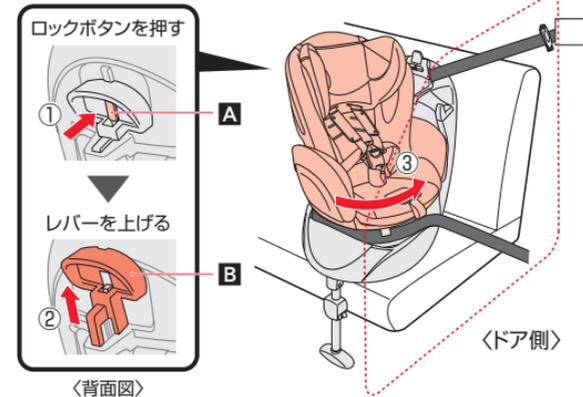
〈シート部正面をドア側に回転させる〉(P21参照)

- ①背もたれ背面のロックボタンAを押しながら、
- ②レバーBを上げ、
- ③シート部を横向きに回転させる。



アドバイス

・アジャスト成長マモールはヘッドガードを倒して使用できます。



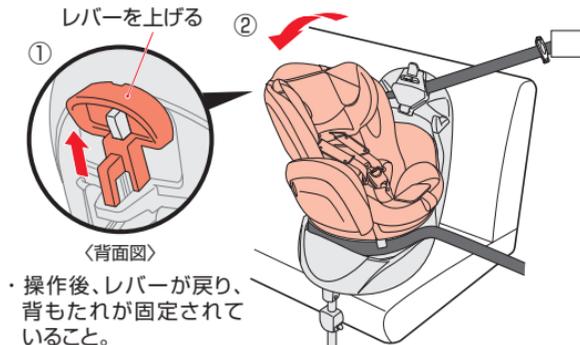
警告

- ・シート部を回転させるときに座っているお子さまの手、指、足などを挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- ・回転後、ロックボタン、レバーが戻り、シート部が固定されていること。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

2

〈背もたれを倒す〉(P22参照)

- ①背もたれ背面のロックボタンを押さずにレバーを上げ、
- ②背もたれを1段倒す。



警告

- ・リクライニング・回転操作時は、お子さまの手や指などを近づけないこと。手や指などが挟まれ、けがを負うおそれがあります。
- ・レバーが戻らない状態で使用しない。性能が充分発揮されません。



注意

- ・リクライニングを一番起こして後向きでは使用できません。

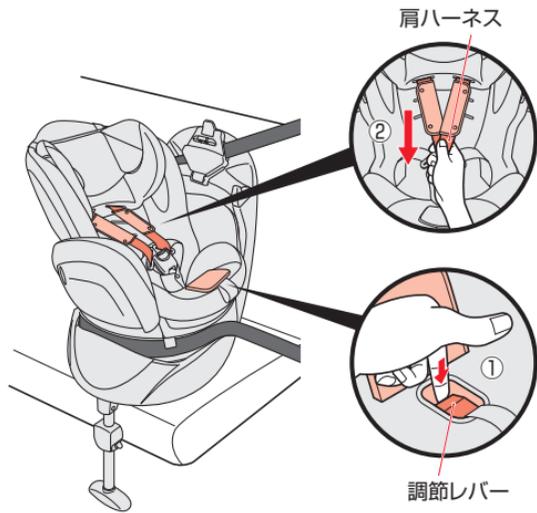
後向き

後向き／お子さまの乗せかた <首すわりから 10kg未満>

3

〈肩ハーネスをゆるめる〉

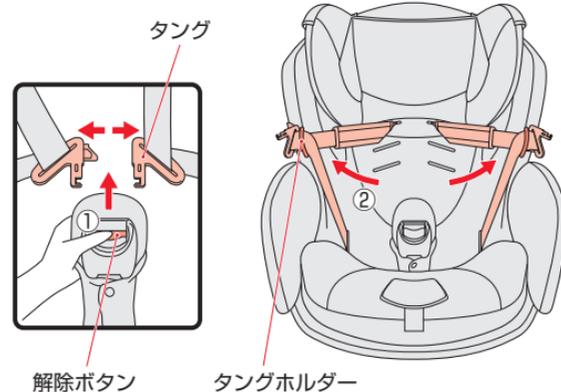
- ①調節レバーを押しながら、
- ②左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



4

〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引掛ける。



5

〈お子さまを乗せる〉

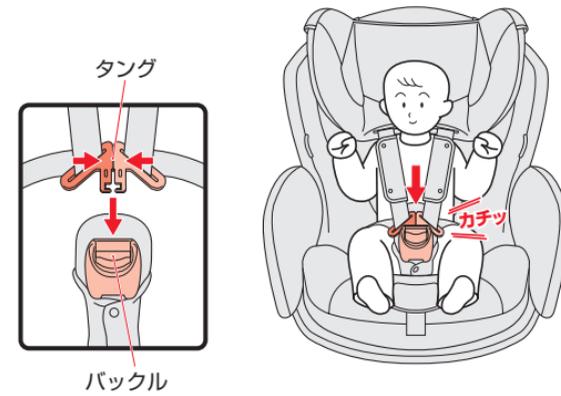
- ①お子さまを座席に深く座らせる。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。



6

〈タングを差し込む〉

- ①左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



・正面から見て肩ハーネスが肩よりすぐ上の位置を通っていること。(P23参照)



警告

- ・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
- ・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

後向き／お子さまの乗せかた 〈首すわりから 10kg未満〉

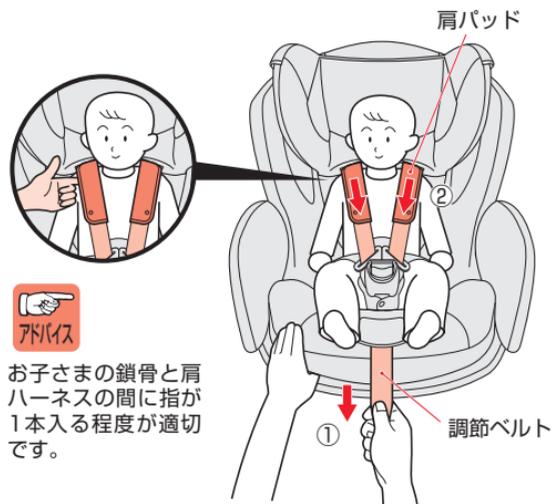
7 〈肩ハーネスを短く調節する〉

- ①調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②肩パッドを、お子さまの肩の位置にあわせる。

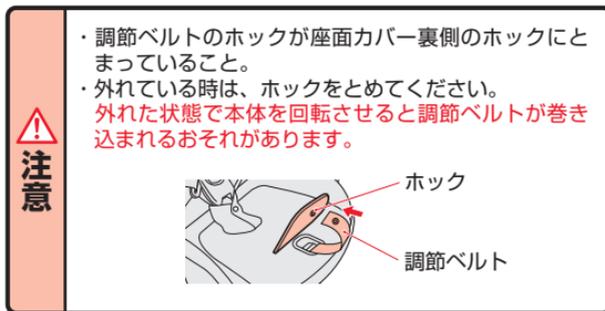


アドバイス

- ・調節ベルトが引張れない場合は背もたれ背面でジョイント金具に引っ掛かりなどないか確認してください。(P29参照)
- ・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください



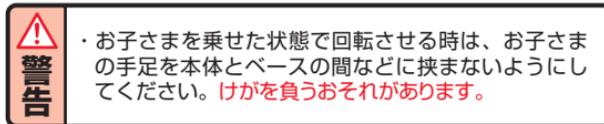
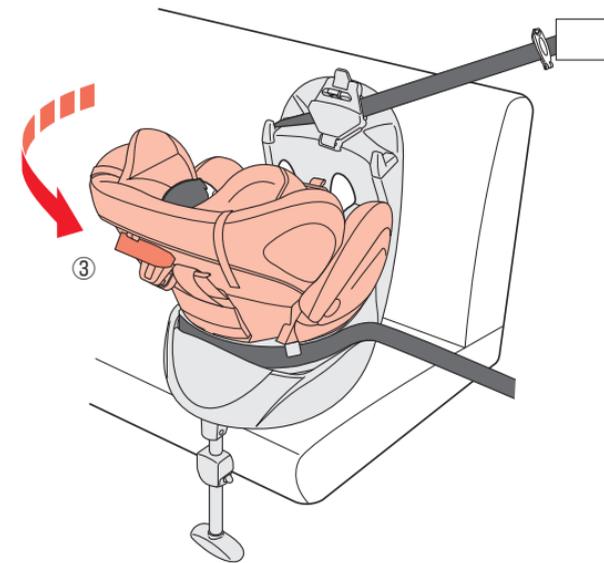
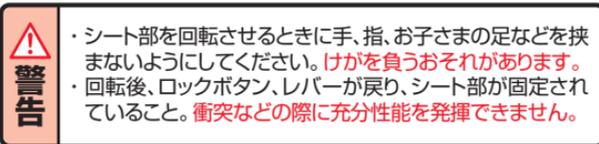
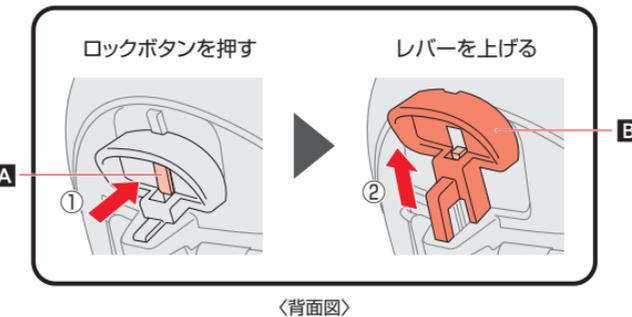
お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。



後向きにする 〈首すわりから 10kg未満／肩ハーネス通し穴：下から2・3・4段〉

1 〈本体を後向きに回転させる〉 (P21参照)

- ①背もたれ背面のロックボタンAを押しながら、
- ②レバーBを上げ、
- ③シート部を後向きに回転させる。



後向き使用時の確認 〈もう一度ご確認ください。〉



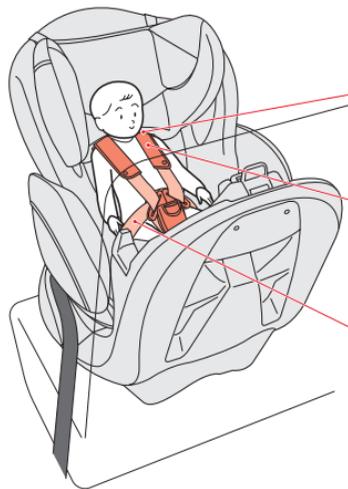
警告

・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。**性能が充分発揮されません。**



注意

・リクライニングを一番起こして後向きでは使用できません。



肩ハーネスが肩よりすぐ上の位置を通っていること。

肩パッドが肩の位置にあること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。

・正しくできていない場合は、もう一度P50～P54の手順をやり直してください。
・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みがないこと。

前向きにする 〈体重：9kgから 18kgまで／肩ハーネス通し穴：下から3・4・5段〉

1

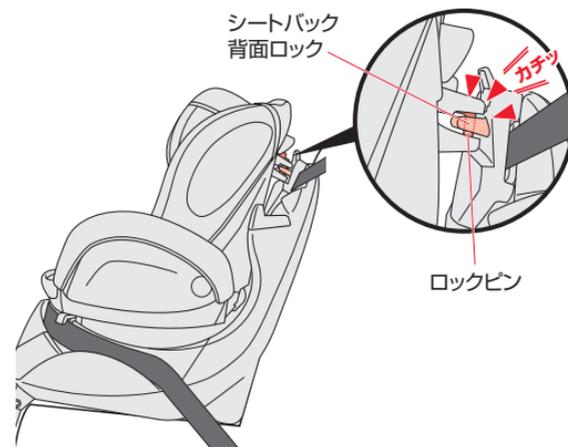
〈目視で確認する〉

ベース側のロックピンがシートバック背面ロックを通り、「カチッ」とロックされたことを確認する。

2

〈手で動かして確認する〉

本体上部を前後左右に動かし、本体が固定されていることを確認する。



警告

・シートバック背面ロックが必ずロックされていること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

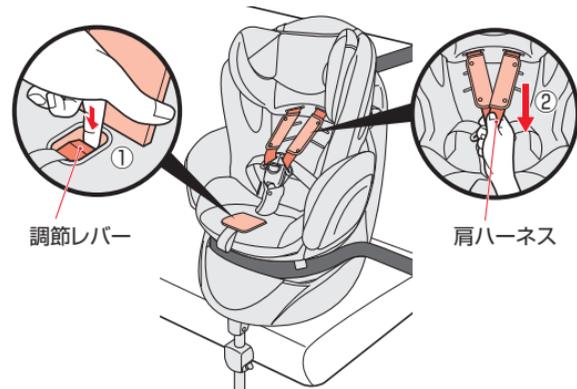
前向き／お子さまの乗せかた 〈体重：9kgから 18kgまで〉

1 〈肩ハーネスをゆるめる〉

- ①調節レバーを押しながら、
- ②左右の肩ハーネスを手前に引き、ゆるめる。
(肩パッドより下の肩ハーネスを引く。)



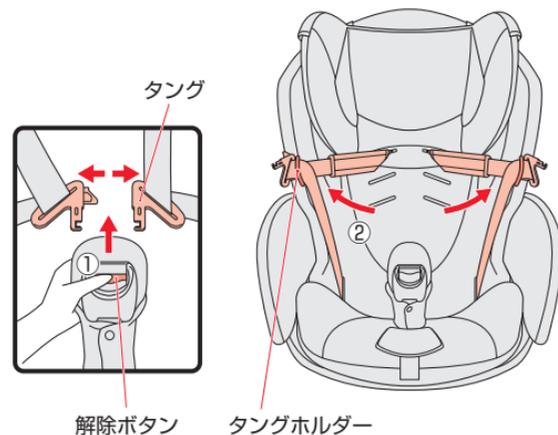
・アジャスト成長マモールはヘッドガードを倒して使用できます。



・腰パッドは使用しない。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。

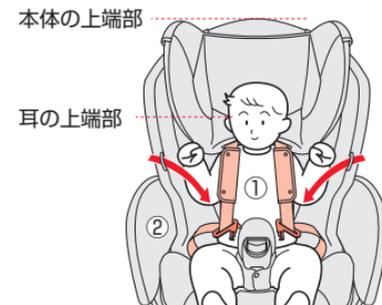
2 〈タングを外す〉

- ①バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
- ②左右のタングをタングホルダーに引掛ける。



3 〈お子さまを乗せる〉

- ①お子さまを座席に深く座らせる。
- ②左右のタングをタングホルダーから外す。



・正面から見て肩ハーネスが肩よりすぐ上の位置を通っていること。(P24参照)

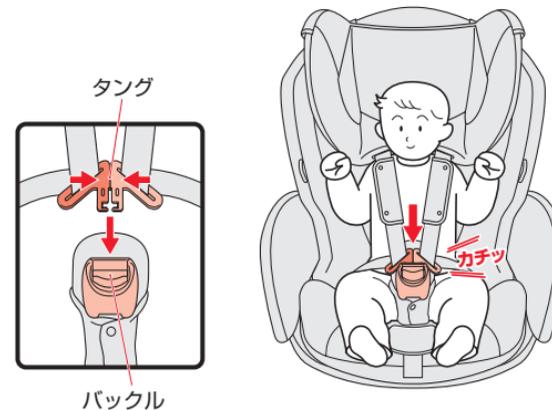


・耳の上端部が本体の上端部より下になること。
衝突などの際に充分性能を発揮できません。



4 〈タングを差し込む〉

- 左右のタングを組み合わせ、「カチッ」とバックルに固定されるまで差し込む。



・タングをバックルに差し込む時は、指や手を挟まないようにしてください。けがを負うおそれがあります。
・タングをバックルに差し込む時、「カチッ」と音がしない場合は使用しない。衝突などの際に充分性能を発揮できません。

前向き／お子さまの乗せかた （体重：9kgから 18kgまで）

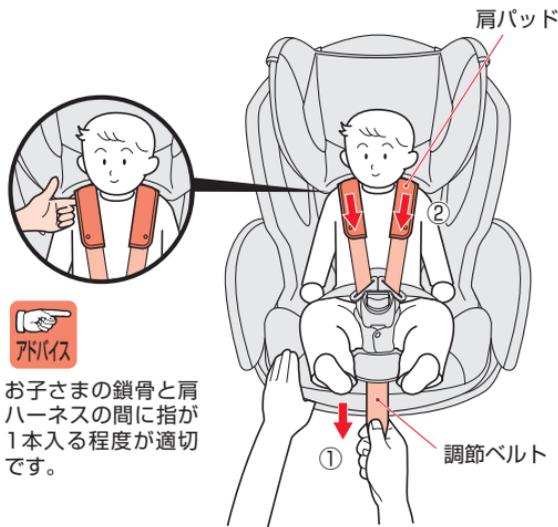
5

〈肩ハーネスを短く調節する〉

- ①腰ハーネスにたるみがないことを確認してから調節ベルトを引き、肩ハーネスを締める。
- ②肩パッドを、お子さまの肩の位置にあわせる。



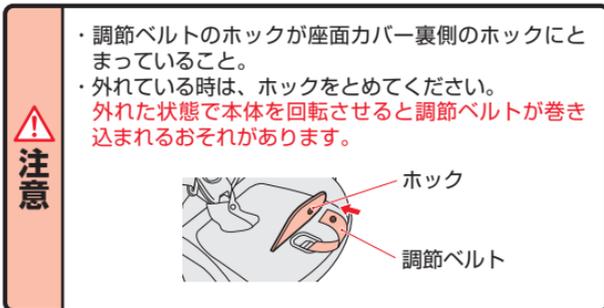
- ・調節ベルトが引けない場合は背もたれ背面でジョイント金具に引っかかりなどないか確認してください。（P29参照）
- ・肩パッドが奥に入り込んだ場合は全て引き出してください



お子さまの鎖骨と肩ハーネスの間に指が1本入る程度が適切です。



警告



注意

前向き使用時の確認 （もう一度ご確認いただきたい項目です。）



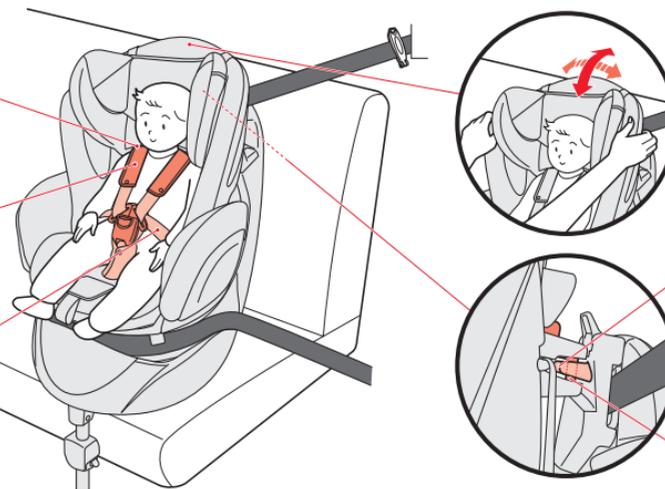
警告

- ・肩ハーネス、腰ハーネスは、ねじれたり、緩んだ状態で使用しない。また、腰ハーネスは骨盤上以外で着用しない。性能が充分発揮されません。

肩ハーネスが肩よりすぐ上の位置を通過していること。

肩パッドが肩の位置にあること。

お子さまの骨盤を拘束するように、腰ハーネスを低く下げていること。



ロックされていることを手で動かして確認すること。

シートバック背面ロック

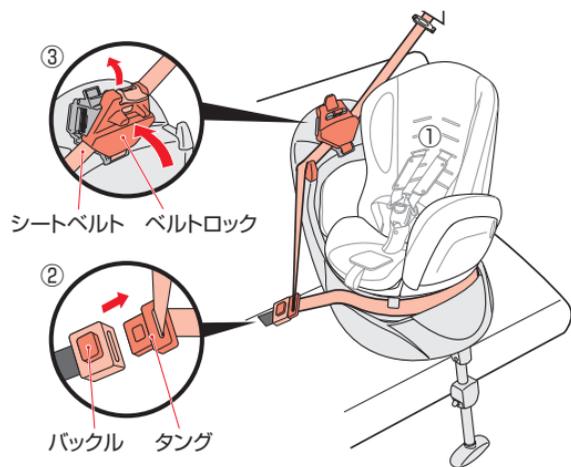
ロックピンが入っていることを目視で確認すること。

ロックピン

- ・正しくできていない場合は、もう一度P56～P59の手順をやり直してください。
- ・車のシートベルトにお子さまを乗せる前と比べて大きな緩みが無いこと。

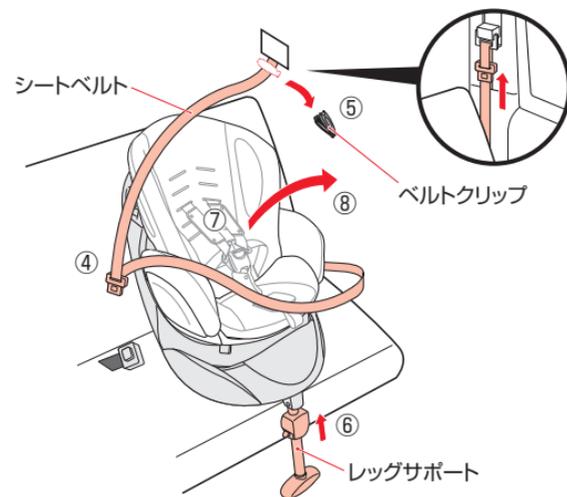
車からの取り外しかた

- ①本体をドア側（もしくは内側）に回転させる。
- ②車のシートベルトのバックルを解除し、タングを外す。
- ③ベルトロックを解除し、シートベルトを外し、ベルトロックを閉じる。



注意 ・チャイルドシートを車から取り外す時はベルトクリップを最後に外す。（簡単に取り外しできます。）
ALR/ELR（チャイルドロック機構付）シートベルトの場合は取り外し作業中にベルトクリップを外すと、シートベルトが全て巻き取られて取り外しにくくなります。

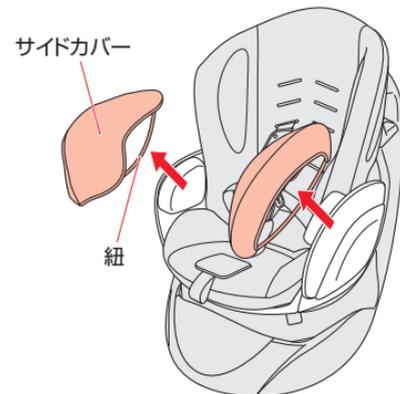
- ④車のシートベルトをベルトガイドから外す。
- ⑤ベルトクリップを外し、車のシートベルトを巻き取る。
- ⑥レッグサポートを一番短くする。
- ⑦本体を前向きに回転させる。
- ⑧チャイルドシートを車の座席から降ろす。



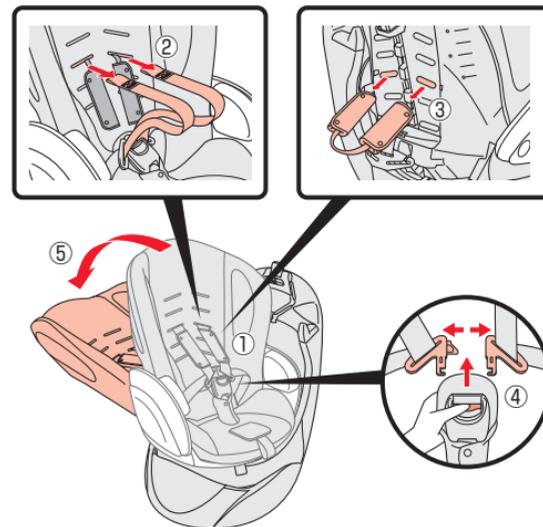
アドバイス ・外したベルトクリップは、チャイルドシートと共に大切に保管してください。

シートカバーの外しかた

- 1** <サイドカバーを取り外す>
①サイドカバー下部の紐を外し、サイドカバーを取り外す。（左右）



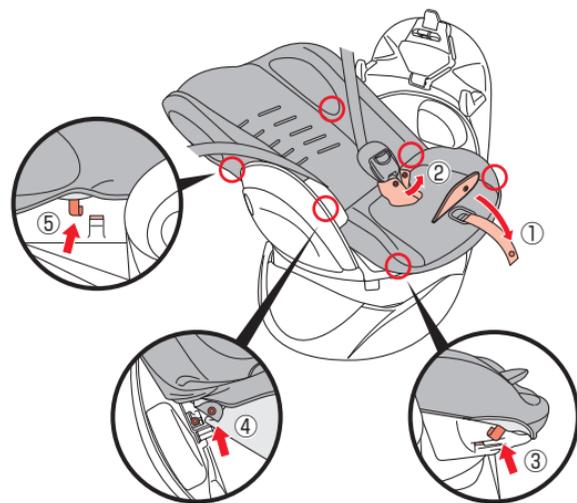
- 2** <肩パッド・肩ハーネスを取り外す>
①本体を横向きにする。
②肩ハーネス、③肩パッドを取り外す。
④バックルの解除ボタンを押し、タングを外す。
⑤リクライニングをベッド状態まで倒す。



シートカバーの外しかた

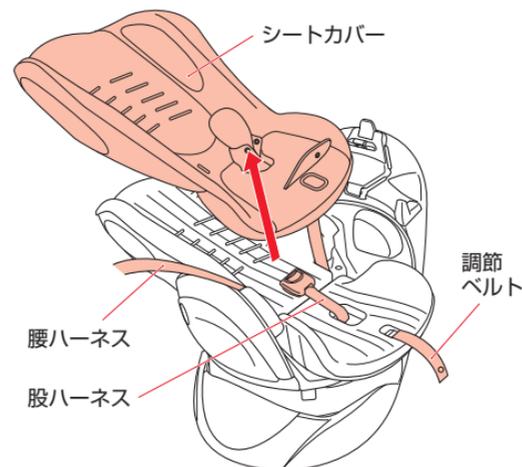
3 <フック・フックを外す>

- ①調節ベルトのフックを外す。
- ②股ハーネスカバーのフックを外す。
- ③座面部のフックを外す。
- ④腰部のフックを外す。
- ⑤背もたれ横側のフックを外す。



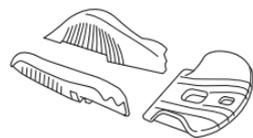
4 <シートカバーを取り外す>

- ①腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを抜き取り、シートカバーを取り外す。



注意

・座面と背もたれサイドのクッションは洗えません。



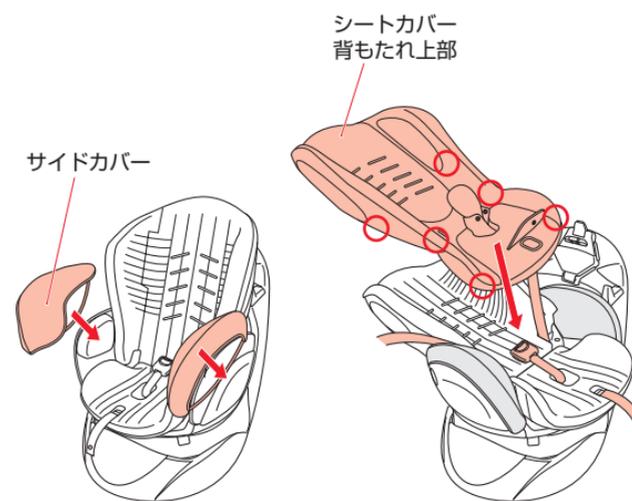
シートカバーの取り付けかた

1 <サイドカバーを取り付ける>

- ①本体を前向きにする。
- ②サイドカバーをかぶせ、サイドカバー下部の紐を取り付ける。(左右)

2 <シートカバーを取り付ける>

- ①本体を横向きベッドにする。
- ②シートカバーの背もたれ上部からかぶせる。
- ③腰ハーネス、股ハーネス、調節ベルトを通し穴に通す。
- ④腰部のフックをとめる。(左右)
- ⑤背もたれ横側のフックをとめる。(左右)
- ⑥座面部のフックをとめる。(左右)
- ⑦股ハーネスカバーのフックをとめる。



警告

・正しい取り付け方をしないと指挟みなどの原因となるおそれがあります。

3 <肩パッド・肩ハーネスを取り付ける>

- ①リクライニングを起こす。
- ②肩パッド・肩ハーネスを取り付ける。
- ③タングをバックルに差し込む。
- ④調節ベルトのフックをとめる。

・取り付け後、リクライニング操作をしても縫製品やクッションの浮きが無いことを確認してください。

お手入れ・保管・廃棄のしかた

〈シートカバーの洗濯〉



〈樹脂部分のお手入れ〉

〈ほこりなどを吸着した場合〉

- ・タオルなどで乾拭きしてください。
- ・回転レバー付近にゴミがつかまらないようこまめに掃除機などでゴミを吸い取ってください。

〈水溶性の汚れ(果汁、ヨダレ、オシッコなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯にタオルを浸し、軽く絞って拭き取ってください。

〈非水溶性の汚れ(牛乳、油脂、マヨネーズなど)の場合〉

- ・40℃前後のお湯に中性洗剤を溶かし、スポンジを浸し、軽く絞って汚れた部分を軽くこすります。その後、水又は温水にタオルを浸し、軽く絞って充分に中性洗剤を拭き取ってください。



・本体の洗浄にはシンナーなどの溶剤を使用しない。
(変色、変形、劣化のおそれがあります。)

〈保管するときは〉

- ・本体を湿気のないポリ袋などに入れ、直接日光に当たらない、冷暗所に保管してください。



・屋外に放置し、雨などにさらさない。
(劣化などにより、充分な性能を発揮できないおそれがあります。)

〈廃棄するときは〉

- ・事故により処分する場合は、本品に「事故品」と油性ペンで目立つところに記入してください。
- ・地球環境のため、不要になった場合は、お住まいの各自治体の指示にしたがい処分、廃棄してください。

〈製品仕様〉

	高さ	幅	奥行
横向きベッド時	566	790	593
後向き時	566	470	690
前向き時	670	470	593

(mm)

※レッグサポートを除く

商品重量	13.8kg
材質	樹脂部：ポリプロピレン
	シートクッション：ポリエチレン発泡・ポリウレタン発泡
	表生地：ポリエステル

取り付け可能車種一覧表

- ・このチャイルドシートは準汎用型であり、以下に記したシートポジションをもつ車種に適用します。
- ・他の車両のシート位置でも本装置を装着するのに適したものがあります。疑問があるときは、販売店または弊社お客様サポートセンターにご相談ください。
- ・本装置は、認可された車両がECE規則No.16または他の同等の基準で認可された自動車3点式/リトラクター付きシートベルトを装備している場合のみに適用しています。
- ・このチャイルドシートはフロントエアバッグが装備された助手席に使用できません。
- ・アップリカホームページ「<http://www.aprica.jp/>」で最新版をご覧になれます。

記号凡例

- ：取り付けできます。
- ※1：リクライニング・シートスライドなどを使用する事でお取り付けが簡単になります。

メーカー名	車種名	年式	型式	調査座席	取り付け
トヨタ	ヴィッツ	'10/12~	NSP130, KSP130, NCP131	後部サイド	○
ニッサン	モコ	'11/2~	MG33S	後部サイド	○
ホンダ	フィット	'07/10~	GE6, GE7, GE8, GE9	後部サイド	○
マツダ	デミオ	'07/7~	DE系	後部サイド	○
スバル	トレジア	'10/11~	NCP120X, NSP120X, NSP122X	後部サイド	○、※1
三菱	デリカ D:2	'11/3~	MB15S	後部サイド	○
スズキ	ソリオ	'11/1~	MA15S	後部サイド	○
ダイハツ	ムーブ	'10/12~	LA100S, LA110S	後部サイド	○

困ったときには 〈解決しない場合は弊社お客様サポートセンターに連絡してください。〉

〈ご使用前に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
梱包箱の内容物に不足や間違いがある。	販売店または弊社お客様サポートセンターに連絡してください。参照 P70「アフターサービスについての連絡先」
チャイルドシートをご使用になる車に、取り付け可能か判らない。	参照 P66「取り付け可能車種一覧表」または、インターネットのアプリカホームページ「 http://www.Aprica.jp/ 」や店頭チャイルドシート取り付け可能車種一覧表を確認してください。
車のどの座席に取り付けられれば良いのか判らない。	エアバックの有る助手席に取り付けることはできません。また、車両後部座席（3列シートの車両の場合は2列目以降の座席）への取り付けをお奨めします。参照 P11「座席の条件／座席の位置及び装備」
チャイルドシートをどの向きで使えば良いか判らない。	お子さまの体重や成長に合わせて、お使いになる向きを決定してください。参照 P9「お子さまの条件」

〈車への取り付けで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シートベルトの“ねじれ”が取れない。	シートベルトのバックルにタンクを“ねじって”挿入していないか確認してください。参照 P40「取り付けかた」 チャイルドシートを取り外し、車の取扱説明書に従って“ねじれ”を取り除いてください。参照 P61「車からの取り外しかた」
シートベルトのゆるみやたるみが取れない。	取扱説明書に従い、ベースを座席の背もたれに押しつけ、肩シートベルトを手前に強く引き、ゆるみやたるみをなくしてください。参照 P42「取り付けかた」
横向きベッド使用時、ドアに当たる。	車によってはドアやタイヤハウスなどに干渉する事がございますが、ご使用頂いても問題ありません。ドアの開閉時、ドアが確実にロックされた事をご確認ください。また取り付け位置によってはドア干渉が回避される場合があります。バックルを踏みつけない程度にバックル側へ寄せて再度取り付けをお試しください。
チャイルドシートを取扱説明書の通りに車の座席に取り付けてもグラグラする。	車への取り付け方法を再度ご確認の上、もう一度初めから取り付け直してください。参照 P37「取り付けかた」 何度取り付けても固定できない場合は、チャイルドシートと車の座席がミスマッチの可能性があります。販売店または弊社お客様サポートセンターに確認してください。参照 P70「アフターサービスについての連絡先」

〈お子さまの乗せかたで困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
肩ハーネスを最も引き出した状態で、お子さまに肩ベルトを通してバックルにタンクが差し込めない。	肩ハーネスの位置を確認してください。参照 P23「肩ハーネスの高さ調節のしかた」 車内の温度を調節し、厚手の上着は脱がせてください。
肩ハーネスとお子さまの適切なフィット感が判らない。	調節ベルトを引き、ベルトとお子さまの隙間が指1本入る程度まで締め込んでください。参照 P48（横）、53（後）、59（前）「お子さまの乗せかた」
肩ハーネスの左右の張りに大きな差がある。	肩ハーネス通し穴の位置が左右同じ高さになっているか確認してください。参照 P28「肩ハーネスの高さ調節のしかた」
チャイルドシートのバックルにタンクが入らない。	タンクとバックルの隙間に股ハーネスカバーなどを挟み込んでいないか確認してください。参照 P47（横）、52（後）、58（前）「タンクを差し込む」 バックルにジュース、泥水、ゴミ、食物カスなどが入った為に解除ボタンが動かない場合は使用できません。販売店または弊社お客様サポートセンターに連絡してください。参照 P70「アフターサービスについての連絡先」
横向きベッド時、お子さまの足が座面の先端からはみ出す場合。	横向きベッドでのご使用はできません。後向きは7kgから10kg未満で、首がすわってからご使用できます。それまでのご使用を一旦中止してください。

〈操作時に困ったとき〉

お気づきの点	対処方法
シート部が回転しない。	背もたれ背面の調節ベルトがベースに引掛かっている場合があります。座面側から調節ベルトを引き、たるみをなくしてください。
背面カバーが閉まらない。	背面カバーを閉じ、ツメにはめ込み、確実にロックしてください。参照 P29「背面カバーを閉じる」
リクライニングが起こしにくい。	調節ベルトをゆるめてください。参照 P46「肩ハーネスをゆるめる」

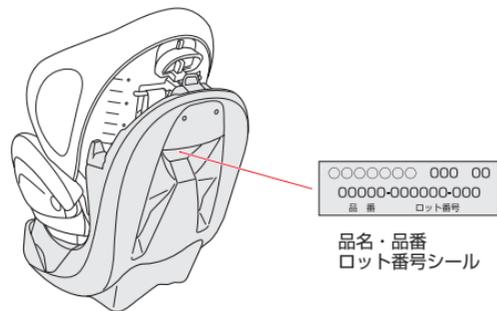
〈中古品のご使用について〉

お気づきの点	対処方法
前の使用者の使用履歴が分からない。	使用状態が不明な製品をご使用になることはできません。特に事故歴の不明な場合はご使用になれません。
クラック（ひび割れ）や大きなキズ、留め金部の緩みなどがある。	ご使用になれません。事故などにより強い衝撃が加わった可能性があります。

〈保証期間とアフターサービス〉

- ・アフターサービスについて
ご使用中に故障などが発生したり、点検中に発見した場合、部品の交換または修理の必要が生じた場合、及びその他異常を感じた場合は、ご使用を中止し製品名・品番・ロット番号をご確認のうえお買い上げの販売店または、弊社お客様サポートセンターまでご連絡ください。
- ・保証期間中（お買い上げ日より1年間です。）に部品の欠品、不良加工など弊社の責任によるもの、取扱説明書や注意書きにしたがった正常な使用状態で故障した場合には、保証規定にもとづき無償修理を致します。ただし、ご購入日より3年以上経過した製品についての修理はいたしますが、製品の修理箇所以外の品質の保証はいたしかねます。（修理箇所の保証期間は1カ月です。）
また、製造中止後の製品については、修理必要部品の在庫がなくなった場合、修理が出来ないこともあります。（部品の保有期間は、製造中止後3年間です。）

- ・お問い合わせの際は、スムーズな対応が行えますよう、チャイルドシート背面ラベルの**品名・品番・ロット番号**を必ずお伝えください。



アフターサービスについての連絡先

アップリカ・チルドレンズプロダクツ株式会社

〈電話連絡先〉

お客様サポートセンター TEL **0120-415-814**

携帯電話からご利用の場合（通話料お客様負担）TEL **0570-004-155**

受付時間：AM10：00～PM5：00（土、日、祝日、弊社所定休日を除く）

.....
〈製品をお送りいただく場合のみの宛先〉

〒632-0221 奈良県奈良市都祁白石町1397-1

アップリカ 奈良サービスセンター ☎(0743)84-2050

お買い上げ時レシート
貼り付け位置

- ・お問い合わせの際に、スムーズな対応が行えますよう、お買い上げ時のレシート（領収書）を貼り付けてください。